

三 まつ、やまも、

第三條 補助金ハ左ノ標準ニ依リ事業ノ難易、成績ノ良否ヲ斟酌シテ之ヲ定ム

一 播種 前條第一號第二號ノ樹種ニ對シテハ經費ノ三分ノ二以内第

三號ノ樹種ニ對シテハ經費ノ三分ノ一以内

二 床替 前條第一號ノ樹種ニ對シテハ經費ノ二分ノ一以内、同條第

二號ノ樹種ニ對シテハ經費ノ五分ノ二以内同條第三號ノ樹種ニ對シテハ經費ノ五分ノ一以内

三 病蟲害驅除豫防 藥品代金ノ全額以内

第四條 補助金ハ土地購入費、借地料、開墾費、地租公課、吏員費、管理費及樹苗購入費ニ對シテハ之ヲ交付セス

第五條 個人ニ補助スヘキ金額ハ一人ニ付播種、床替合セテ參拾圓、病蟲害驅除豫防貳拾圓ヲ超ユルコトヲ得ス

二人以上ヨリ申請シタル場合ニ於テモ同一人ノ事業ト認メタル場合ハ之ヲ一人ト見做ス

第六條 補助金ノ交付ヲ受ケムトスルモノハ別記様式ノ申請書、經費明

細書ニ實測圖ヲ添付シ其ノ年十一月末日限り之ヲ知事ニ差出スヘシ前項ノ經費明細書中不相當ト認ムル金額ニ對シテハ査定スルコトアルヘシ

第七條 補助金ノ交付ヲ受ケタル後申請書ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ又ハ不正ノ行爲アリシコトヲ發見シタルトキハ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ヲ返還セシメ仍將來補助金ヲ交付セサルコトアルヘシ

附 則

第八條 本則ハ大正八年春季ニ於テ播種若ハ床替シタルモノヨリ之ヲ適用ス

第九條 病蟲害驅除豫防ノ爲代金ヲ補助スヘキ藥品ハ當分ノ内第二條第一號及第二號ノ樹種ノ苗圃ニ施用シタル硫酸銅ニ限ル

第一號

樹苗養成補助金交付申請書

一 樹苗圃所在地 郡市町村大字、字、地番、地目

二 播種面積 何坪

内 規則第二條第一、二號ノ樹種

何坪



三 床替面積 何坪

規則第二條第一號ノ樹種  
第二號ノ樹種  
第三號ノ樹種

四 病蟲害驅除豫防藥品 硫酸銅(何々)何程  
前記事業ニ對シ補助金御交付相成度別紙經費明細書、實測圖添付此段  
申請候也

大正何年何月何日  
何郡市何町村

何 某 (印)  
(又ハ何郡市長、何郡何町村  
長、何郡市何町村農會長等團)

第二號 知事宛  
經費明細書

一 三金何圓 第一、二號播種苗圃費

種子代何々何升何圓、人夫賃何圓(地拵何人、播種何人、施肥何人、除草何人、給水何人、日覆何人、病蟲害驅除豫防何人、霜覆何人、何々何人、計何人)、肥料代何々何貫何圓、材料費何圓(藁何束何圓、竹何束何圓、何々何程何圓)

二 金何圓 第三號播種苗圃費

三 金何圓 第一號床替苗圃費  
苗圃面積何程、何々苗何年生何本  
人夫賃何圓(地拵何人、施肥何人、除草何人、給水何人、病蟲害驅除豫防何人、何々何人、計何人)材料費何圓(何々何程何圓)

四 金何圓 第二號床替苗圃費

五 金何圓 第三號床替苗圃費



六 金何圓(同上) 病蟲害驅除豫防費

硫酸銅代何程何圓

計金何圓

注意

- 一 第一號播種若ハ床替苗圃トハ規則第二條第一號ノ樹種ヲ播種若ハ床替シタル苗圃ヲ云フ第二號以下之ニ倣フ
- 二 苗木ノ發芽シテヨリ第一回床替ヲ實行スル迄ヲ一年生苗ト稱シ第一回床替實行後第二回床替ヲ實行スル迄ヲ二年生苗ト稱シ以下之ニ倣フ但シ床替ヲ略スルモノニアリテハ床替ヲナスヘキ時季ニ依リ之ヲ區別ス

○杉赤枯病ニ關スル件

大正二年十月 縣告示第三九一號

明治三十九年(五月)本縣告示第四百四十一號害蟲黴菌ノ種類及驅除豫防方

法中第三十ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス  
三十一 杉ノ赤枯病 杉樹苗

- イ 被害苗半數以上ニシテ其ノ程度激甚ナルモノハ全部拔取り燒却スヘシ
- ロ 被害輕微ニシテ點在セルモノハ被害苗ヲ拔取り燒却シ殘存苗ニハ消毒法ヲ施スヘシ
- ハ 被害ヲ認メスト雖モ被害苗圃ノ附近ニアルモノハ豫防ノ爲消毒法ヲ行フヘシ
- ニ 消毒法ハ新鮮ナル三斗式石灰ボルドウ液ヲ晴天ノ日ニ灌注スヘシ其ノ量ハ枝葉ノ全面ニ附着スルヲ程度トス

(參照)

害蟲驅除豫防法 明治二十九年三月法律第十七號 改正明治三十五年二月法律第九號  
 害蟲驅除豫防法施行規則 明治三十九年五月縣令第三十二號  
 害蟲黴菌ノ種類及驅除豫防方法 明治三十九年五月告示第四百四十一號 追加四十二年八月告示第三百四十號

○竹林造成補助規則

大正八年七月 縣令第五〇號

第一條 竹林ノ造成ヲ獎勵スル爲本則ノ定ムル所ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス



第二條 補助金ヲ交付スヘキ竹林ハ三畝歩以上ノ團地ニシテ左ノ母竹株數ヲ新植シタル單純林ニ限ルモノトス

一 苦竹 一反歩ニ付五十株以上

一 淡竹 同 五十株以上

一 孟宗竹 同 三十株以上

一 黒竹 同 百株以上

第三條 補助金ハ施業經費ノ二分ノ一以内トシ事業ノ難易、成績ノ良否ヲ斟酌シテ之ヲ定ム

前項ノ施業經費ハ地拵費、母竹代金並運搬費及植栽費ニ限ル

第四條 補助金ノ交付ヲ受ケムトスルモノハ竹林ノ所在、地番、地目、面積、竹種、母竹株數及植栽月日ヲ記載シタル申請書ニ實測圖及別記様式ノ經費明細書ヲ添付シ其ノ年十二月末日限り知事ニ差出スヘシ  
前項ノ經費明細書中不相當ト認ムル金額ニ對シテハ査定スルコトアルヘシ

第五條 補助金ノ交付ヲ受ケタル竹林ハ一箇年以内ニ枯損シタル母竹ヲ補植シ尙毎年相當ノ施肥、手入ヲ行フヘシ

施肥、手入ニ關シ特ニ指定ヲ受ケタルトキハ之ヲ施行スヘシ  
第六條 補助金ノ交付ヲ受ケタル後ト雖申請書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シ其ノ他不正ノ行爲アリタルコトヲ發見シ又ハ前條ニ違背シタルトキハ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ヲ返還セシメ仍將來補助金ヲ交付セザルコトアルヘシ  
別記

經費明細書

一金何圓 施業經費

内

金何圓 地拵費

但シ面積何反歩一反歩ニ付金何圓

金何圓 母竹代金

但シ何々母竹何株代金一株ニ付金何錢、運搬費金何圓

金何圓 植栽費

但シ人夫數何人賃金一人ニ付金何錢(一人當リ植栽株數何株)



○竹林ノ病蟲害豫防ニ關スル件

明治四十三年七月  
農林部 第一號

竹ハ百般ノ工藝上廣ク用途ヲ有シ内國ノ需用追年増進スルノミナラス海外輸出ノ額亦漸次多キヲ加フ故ニ之カ栽培ハ最モ有利ナル生産事業ノ一ナリトス然ルニ近年縣下到處竹林ノ病害、開花等ノ爲枯稿スルモノ頗ル多ク甚シキハ一團林全滅ノ慘狀ヲ呈セルモノアリ之ニ對シ多少注意スル者ナキニアラサレトモ多クハ等閑ニ付シテ顧ミス爲ニ傳染性蔓自然枯ノ如キ益々害毒ノ蔓延ヲ致サントス今ニシテ能ク適當ノ方法ヲ講シ之カ防除ニ盡スニアラサレハ其ノ損害計ルヘカラス斯業ノ前途詢ニ寒心ニ堪ヘサルナリ而シテ竹林枯稿ノ主タル原因及之カ防除ノ方法ハ概ネ左ノ如シ當業者宜シク之ニ依リテ一致共同其ノ保護ニカムヘシ

一 蔓自然枯ハ苦竹及淡竹林ニ多ク寄生菌ノ作用ニ依リ傳染スルモノニシテ其ノ害况初メハ林縁ノ老竹又ハ羸弱ノ竹ヲ侵シ漸次波及シテ内部ノ壯竹ニ及ホスモノナリ此ノ害ニ罹リタル竹ハ其ノ枝葉細小ナル蔓狀ニ變シ普通ノ葉ハ脱落シテ終ニ枯死スルニ至ル而シテ本病ノ蔓延甚シキトキハ全ク筍ノ發生ヲ見サルニ至ルヘシ之カ防

除法ハ生竹ヲ撓メテ生垣トナスコトヲ避ケ又林縁ノ老竹及羸竹ヲ伐採シテ傳染ノ媒介物ヲ除キ既ニ病害ニ罹リタルモノニシテ蔓枝ノ數全枝ノ三分ノ一以下ナルトキハ其ノ枝ヲ伐リ取り三分ノ一以上ナルトキハ其ノ竹幹ヲ伐採シテ蔓枝全部ヲ燒却スヘシ

一 自然枯ハ普通ニ竹ノ開花ト稱スルモノニシテ淡竹林ニ多ク其ノ原因ハ詳ナラサレトモ害况ハ秋季葉ニ赤色ヲ呈シ初冬ニ至リ枝頭ニ少シク開花シ寒中ハ一時中止スルモ翌春ニハ青葉全ク脱落シテ小枝ニ多數房狀ノ穗ヲ生シ盛ニ開花ス發筍殆ント皆無ニシテ全林枯死スルヲ常トス此ノ害ハ傳染性ヲ有セサルモノノ如ク之カ防除ニハ適當ナル方法ナキモ被害ノ初期即チ未タ甚シク材質ヲ損セサル内ニ於テ全材ヲ伐採利用シ其ノ跡地ニハ除草、施肥等ヲ爲シ新竹ノ繁殖ヲ助クヘシ而シテ伐採後發生シタル細小ナル新竹ハ再ヒ開花シテ枯稿スルモノナレトモ翌春ニ至レハ更ニ新竹ヲ生シテ漸次恢復ニ向フモノナリ恢復期間ハ普通十年乃至二十年ヲ要スレトモ手入保護宜シキヲ得レハ數年間ニシテ開花前ニ等シキ竹林ヲ見ルニ至ルヘシ



○竹林造成ニ關スル件

大正 六年八月  
林第一二二五號通牒

竹林造成上母竹ノ植栽季節ハ極寒極暑ヲ除キ何時ニテモ植栽シ得ラレ候  
ヘ共本縣ニ於テハ秋季十月ヲ最モ適當ト存候就テハ今秋植栽セントスル  
モノハ夏季ニ於テ母竹撰定開墾其他相當準備ヲ怠ラサル様當業者ヘ御注  
意相成度此段爲念及通牒候也

○林業補助ニ關スル件

大正八年七月二十四日  
林第八二八號通牒

本年七月改正相成候縣令第五〇號竹林造成補助規則同第五二號樹苗養成  
補助規則ニ依リ申請書ヲ受理セラレタルトキハ右申請ノ事實相違ナキヤ  
否ヲ調査シ尙成績良否ノ概況ヲ記シタル調査ヲ添付御進達相成度依命此  
段及通牒候也

○杉扁柏種子採取及販賣取締規則

明治三十六年九月 改正 明治四十五年七月 大正八年七月  
縣令 第三十五號 縣令 第三十六號 縣令 第五十五號

第一條 此ノ規則ニ於テ種子採取人ト稱スルハ左ニ該當スル者ヲ云フ  
一 自己ノ所有又ハ他人ノ所有ニ屬スル山林ニ於テ種子ヲ採取スル者

二 他人ノ雇傭ニ依リ種子ヲ採取スル者

第二條 此ノ規則ニ於テ種子販賣人ト稱スルハ種子ノ仲買及販賣ヲ爲ス  
者ヲ云フ

第三條 杉扁柏種子採取人ハ第一號書式ニ依リ種子採取地ノ町村長ニ届  
出鑑札ヲ受クヘシ

但シ年齡滿十五年以下ノ者ハ種子採取人タルコトヲ得ス  
第四條 他人ノ雇傭ニ依リ種子採取人トナル者ハ前條届書ニ雇主連署ス  
ヘシ

第五條 種子採取人ハ第三條ノ届出ト同時ニ第二號書式ニ依リ種子採取  
個所ノ調査ヲ差出スヘシ但シ第四條ノ種子採取人ニ在テハ雇主ヨリ差  
出スヘシ

第六條 種子採取個所自己ノ所有林ニアラサルモノハ第三號書式ニ依リ  
私有林公有林ニ在テハ所有者又ハ管理者ノ承諾書國有林ニ在テハ官廳  
ノ許可書ヲ前條調査ニ添付スヘシ

第七條 杉扁柏ノ種子ハ母樹ノ樹齡四十年以上八十年以下ニ該當スルモ  
ノニシテ左ノ期節以後ニアラサレハ之ヲ採取スルコトヲ得ス



杉ハ毎年十一月一日ヨリマケルノ年十二月三十一日限リトス鑑札ハ効力ヲ失ヒタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ交付シタル町村役場ニ返納スヘシ

第八條 町村長ハ種子採取個所調査ヲ調査シ適當ノ母樹ニアラサルモノト認ムルトキハ鑑札ヲ交付スヘカラス

第九條 種子採取人就業ノ時ハ必ス鑑札ヲ携帶シ何時ニテモ鑑札ノ檢査アルトキハ呈示スヘシ

第十條 鑑札ノ有効期限ハ其ノ年十二月三十一日限リトス鑑札ハ効力ヲ失ヒタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ交付シタル町村役場ニ返納スヘシ

第十一條 鑑札ノ使用ハ本人ニ限り他人ニ貸渡スコトヲ得ス

第十二條 鑑札ヲ亡失毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ届出再渡ヲ請フヘシ死亡又ハ廢業ニ係ルトキハ速ニ鑑札ヲ返納スヘシ

第十三條 種子採取人ハ不熟ノ球實ヲ採取シ或ハ樹幹ヲ損傷スヘカラス

第十四條 枝葉ヲ伐採シテ球實ヲ採取スルトキハ母樹ノ生存ヲ害セサル爲必要ノ部分ヲ存置スヘシ

第十五條 杉扁柏種子販賣人ハ第四號書式ニ依リ町村長ニ届出ツヘシ

第十六條 種子販賣人ハ種子採取人ノ鑑札ヲ有セサル者ヨリ種子ヲ買取

ルコトヲ得ス

第十七條 種子販賣人ハ發芽力ヲ失ヒタル古種子ヲ新種子ニ混シ或ハ古種子ニ油ヲ混入シテ光澤ヲ付シ新種ニ擬装スル等不正ノ種子ヲ製造シ之ヲ販賣スルコトヲ得ス

第十八條 種子販賣人ハ自ラ採取シタルモノ又ハ買取リタル種子ハ帳簿ヲ設ケ種子採取人住所氏名及數量ヲ詳記シ二箇年間保存スヘシ

第十九條 種子販賣人ハ警察官又ハ特ニ行政官廳ノ命ヲ受ケタル吏員ノ種子及帳簿ヲ檢査スルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十條 本則第三條第七條第九條第十一條第十三條乃至第十九條ニ違背シタル者ハ科料ニ處ス

第二十一條 町村長ハ種子採取人ノ鑑札ヲ下付シタルトキ及種子販賣人ノ届出アリタルトキハ其ノ都度所轄郡長及警察官署長ニ報告スヘシ

第一號書式

杉扁柏種子採取届

村大字

氏名



年 月 日生

右ハ別紙調書ノ土地ニ於テ杉扁柏種子採取致度候條鑑札御下渡相成度  
此段及御届候也

右

年 月 日

氏 名 印

(届人戸主ニアラサルモノハ其ノ戸主未成年者ハ其ノ親權者署名スヘシ他人ヲ雇入レ採取セシムルモノハ其ノ雇主連署スヘシ)

町村長宛 第二號書式

杉扁柏種子採取個所調書

町村	大字	字	地番	反別	樹種	母樹ノ本數	住所	有氏名	者名

右之通りニ候也

年 月 日

氏 名 印

(届書ト同様署名スヘシ)

町村長宛

第三號書式

承諾書

町村	大字	字	地番	反別	樹種	母樹ノ本數	採取人住所氏名

右自分所有(何町村大字何公有)林ニ於テ前記採取人ニ杉扁柏種子ノ採取ヲ承諾ス

年 月 日

郡 町村大字 地番 氏 名 印

(所有者未成年ナルトキハ其ノ親權者署名スヘシ  
公有林ニ在テハ管理者タル町村長署名スヘシ)

第四號書式



第四號書大杉扁柏種子販賣届

二〇六

住 氏 名 所  
製 造 所  
販 賣 所  
右及御届候也

年 月 日

右

町村長宛

氏 名 印

(参照)

大正八年七月縣訓令甲第二十八號

今般縣令第五十五號ヲ以テ杉、扁柏種子採取及販賣取締規則改正ニ付取扱方左ノ通心得ヘシ

第一條 種子採取人鑑札ハ其郡市内一ヶ年所要枚數ヲ見積リ豫メ請求スヘシ  
第二條 種子採取人鑑札ハ各市町村ニ送附シ其記載方左ノ通り取扱ハシムヘシ

表

第 號	何町村
割 印	杉(扁柏)種子採取人鑑札
役場印	
大正 年 月 日 下付	

裏

郡(市)町大字	番屋敷
採取人	何 某

第三條 市町村ニハ種子採取人鑑札下付簿ヲ設ケ鑑札番號及採取人住所氏名ヲ登録シ鑑札ト割印セシムヘシ

第四條 各市町村ヨリ報告シタル種子採取人鑑札下付數並種子販賣人ノ住所氏名ハ毎年十二月限リ報告スヘシ

第五條 種子製造ノ期節ニ於テ所屬吏員ヲ派シ種子販賣人ノ種子及帳簿ヲ検査スヘシ

第六條 前條検査ノ狀況並種子販賣人製造ノ數量ハ翌年三月末日限リ報告スヘシ

○五倍子取締規則

大正八年七月二十五日 縣令第五十四號

第一條 本則ニ於テ五倍子ト稱スルハぬるでノ五倍子ヲ謂フ

第二條 五倍子ハ毎年九月二十日以後ニ非レハ採取スルコトヲ得ス

第三條 本則ニ違背シタルモノハ拘留又ハ科料ニ處ス

二〇七



製炭傳習規程

大正三年六月十九日改正 大正三年八月 大正四年一月  
林 第七〇一號 通牒 林 第九三一號 林 第六五號

- 第一條 本縣ニ於テ傳習スル製炭ハ竈内消火法ニ依ルモノトス
- 第二條 市町村ニ於テ製炭ノ傳習ヲ爲サムトスルトキハ講師ヲ派遣スルモノトス
- 第三條 一ヶ所ノ傳習期間ハ凡ソ二週間（竈築造ヨリ第二回ノ製炭ヲ終ル迄）トス
- 第四條 一ヶ所ノ傳習生ハ十名以上トス
- 第五條 傳習生ハ傳習ニ係ル凡テノ勞役ニ服スヘキモノトス
- 第六條 傳習ニ要スル炭材、諸材料及器具ハ主催市町村ヨリ提供スルモノトス
- 第七條 炭材ハ傳習着手ノ日ヨリ十五日以前ニ根伐ヲ爲スコトヲ要ス
- 第八條 一ヶ所ノ傳習ニ要スル炭材ハ重量凡ソ一千五百貫トス
- 第九條 傳習ニ用フル竈ハ傳習並ニ參觀ニ便利ナル場所ニ設クルモノトス
- 第十條 傳習生ニシテ講師ノ命ニ違背シ其ノ他不都合ノ行爲アリタルト

キハ之レヲ除名セシムルコトアルヘシ  
第十一條 傳習ヲ受ケタル者ニハ左ノ證書ヲ授與ス

傳習證書

族籍 氏 名

本縣派遣講師ニ就キ木炭改良製造法ヲ傳習シタルコトヲ證ス

年 月 日

第 三 重 縣 印

鑛業法

明治三十八年三月八日 改正四十年第四十一號、四十三年第十號  
法律第四十五號 四十四年第九號

第一章 總 則

- 第一條 本法ニ於テ鑛業ト稱スルハ鑛物ノ試掘、採掘及之ニ附屬スル事業ヲ謂フ
- 第二條 本法ニ於テ鑛物ト稱スルハ金鑛、銀鑛、銅鑛、鉛鑛、蒼鉛鑛、錫鑛、安質母尼鑛、水銀鑛、亞鉛鑛、鐵鑛、硫化鐵鑛、格魯謨鐵鑛、滿俺鑛、重石鑛、水鉛鑛、砒鑛、燐鑛、黑鉛、石炭、亞炭、石油、土



瀝青及硫黃ヲ謂フ但シ砂鑛ハ此ノ限ニ在ラス  
含油層ト密接ノ關係アル可燃質天然瓦斯ハ之ヲ石油ト看做ス但シ工業  
用其ノ他ノ營利ヲ目的トセスシテ單ニ一家ノ自用ニ供スルモノニハ本  
法ヲ適用セス

第三條 未タ掘採セサル鑛物(廢鑛及鑛滓ヲ含ム)ハ國ノ所有トス

第四條 本法ニ於テ鑛業權ト稱スルハ試掘權及採掘權ヲ謂フ

鑛業權者ハ鑛區ニ於テ其ノ許可ヲ受ケタル鑛物ヲ掘採シ及之ヲ取得ス  
ル權利ヲ有ス但シ鑛區ノ重複シタル場合ニ於テハ鑛業權者ハ互ニ其ノ  
權利ヲ制限セラル

第五條 帝國臣民又ハ帝國法律ニ從ヒ成立シタル法人ニ非サレハ鑛業權  
者トナルコトヲ得ス

第六條 本法ニ規定シタル鑛業權者ノ權利義務ハ鑛業權ト共ニ移轉ス  
本法ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ鑛業ヲ出願セムトスル  
者、鑛業出願人、鑛業權者、土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテ  
モ其ノ效力ヲ有ス

第七條 二人以上共同シテ鑛業ヲ爲シ又ハ之ヲ爲サムトスルトキハ内一

人ヲ選定シテ代表者ト爲シ鑛山監督署長ニ届出ツヘシ其ノ届出ナキト  
キハ鑛山監督署長之ヲ指定ス

代表者ハ國ニ對シ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ヲ代表ス  
共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ハ組合契約ヲ爲シタル者ト看做ス

第八條 本法ニ於テ鑛夫ト稱スルハ鑛業ニ從事スル勞役者ヲ謂フ

第九條 本法ニ於テ鑛區ト稱スルハ鑛業權ノ登録ヲ得タル土地ノ區域ヲ  
謂フ

鑛區ノ境界ハ直線ヲ以テ之ヲ定メ地表境界線ノ直下ヲ限トス其ノ面積  
ハ石炭ニ在リテハ五萬坪以上其ノ他ノ鑛物ニ在リテハ五千坪以上トシ  
共ニ百萬坪ヲ超ユルコトヲ得ス但シ鑛利保護上又ハ鑛區分合上已ヲ得  
サル場合ニハ百萬坪ヲ超ユルコトヲ得  
同一ノ鑛區ニ於テハ二以上ノ鑛業權ヲ設定スルコトヲ得ス但シ其ノ目  
的異種ノ鑛物ナルトキ及第三十六條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條 宮城、離宮、神宮及皇陵ノ周圍三百間以内並要塞地帯第一區内  
ノ場所ハ之ヲ鑛區ト爲スコトヲ得ス

陸海軍所轄ノ軍港、要港、火藥製造所、火藥庫及彈藥庫ノ周圍三百間



以內並要塞地帶第二區及第三區內ノ場所ハ所轄官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ鑛區ト爲スコトヲ得ス

前二項ニ掲ケタル場所ハ所轄官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ鑛業ノ爲之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十一條 鐵道、軌道、道路、運河、河湖、沼池、隄塘、社寺境内地、墓地、公園地其ノ他ノ營造物及建物ノ地表地下トモ其ノ周圍三十間以內ノ場所ニ於テハ所轄官廳ノ許可、所有者及關係人ノ承諾ヲ受クルニ非サレハ鑛業ヲ爲スコトヲ得ス但シ所有者及關係人ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條 鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正、増減及改正ノ出願ニ付テハ鑛業ノ出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第十三條 本法ニ於テ鑛業稅ト稱スルハ鑛區稅及鑛產稅ヲ謂フ

第十四條 本法ハ第八章ノ規定ヲ除クノ外國ノ鑛業ニ之ヲ適用ス

第十四條ノ二ニ農商務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ依ル職權ノ一部ヲ鑛山監督署長ニ委任スルコトヲ得

第二章 鑛業權

第十五條 鑛業權ハ物權トシ不動産ニ關スル規定ヲ準用ス但シ民法第百

七十九條第一項ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 鑛業權ハ不可分トス

第十七條 鑛業權ハ相續、讓渡、滯納處分及強制執行ノ目的タルノ外權利ノ目的タルコトヲ得ス但シ探掘權ハ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得

第十八條 試掘權ノ存續期間ハ登錄ノ日ヨリ二箇年トス

前項ノ期間ハ鑛區ノ増減又ハ改正ノ爲變更セララルコトナシ

第十九條 鑛業權及抵當權ノ設定、變更、移轉、消滅並處分ノ制限ハ鑛業原簿ニ登錄ス共同鑛業權者ノ脱退ニ付テモ亦同シ但シ鑛業權ノ處分ヲ制限セラレタルトキハ廢業ノ登錄ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ登錄ハ登記ニ代ルモノトス

登錄ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 前條第一項ニ掲ケタル事項ハ相續、期限ノ到來ニ因ル鑛業權ノ消滅並第四十二條及第四十三條ノ競賣ノ場合ヲ除クノ外登錄ヲ爲スニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十一條 鑛業ヲ爲サムトスル者ハ願書ニ鑛區圖ヲ添ヘ試掘ニ付テハ



鑛山監督署長、採掘ニ付テハ農商務大臣ニ出願スヘシ  
第二十二條 鑛業出願人ハ名義ノ變更ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ  
試掘ニ付テハ鑛山監督署長、採掘ニ付テハ農商務大臣ニ届出ヲ爲スニ  
非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十三條 採掘出願人ハ出願地ニ其ノ採掘セムトスル鑛物ノ存在スル  
コトヲ證明スヘシ

第二十四條 農商務大臣ニ於テ試掘出願地採掘ニ適スルモノト認メタル  
トキハ採掘ノ出願ヲ命スヘシ

前項ノ場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ採掘ノ出願ヲ爲サ  
サルトキハ試掘ノ出願ハ之ヲ許可セス

前二項ノ規定ハ農商務大臣ニ於テ採掘出願地仍試掘ヲ要スルモノト認  
メタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條 採掘出願地ノ位置形狀鑛床ノ位置形狀ト相違シ鑛利ヲ損ス  
ルモノト認メタルトキハ農商務大臣ハ其ノ訂正ノ出願ヲ命スヘシ

前項ノ場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ訂正ノ出願ヲ爲サ  
サルトキハ採掘ノ出願ハ之ヲ許可セス

第二十六條 採掘出願地ノ位置形狀鑛床ノ位置形狀ト相違シ鑛利ヲ損ス  
ルモノト認メタルトキハ採掘出願人ハ其ノ訂正ヲ出願スルコトヲ得

第二十七條 鑛業出願人ハ出願地ノ増減ヲ出願スルコトヲ得

第二十八條 試掘出願地出願ノ當時鑛區ト重複スル場合ニ於テ同種ノ鑛  
物ナルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ其ノ出願ヲ許可セス

第二十九條 採掘出願地出願ノ當時他人ノ鑛區ト重複スル場合ニ於テ同  
種ノ鑛物ナルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ其ノ出願ヲ許可セス但  
シ第三十六條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十條 採掘出願地他人ノ試掘出願地ト重複スル場合ニ於テ同種ノ鑛  
物ナルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ第二十四條第一項及第二項ノ  
規定ヲ準用ス

第三十一條 鑛業出願地他人ノ鑛區ト重複スル場合ニ於テ異種ノ鑛物ナ  
ルトキハ鑛山監督署長ハ之ヲ鑛業權者ニ通知スヘシ

鑛業權者ハ前項ノ通知書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ自ラ其ノ鑛業ヲ出  
願スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ第三十六條及豫メ鑛業權者ノ承諾ヲ得タル場合ニハ之



ヲ適用セス

第一項ノ出願他人ノ鑛業ニ妨害アリト認メタルトキハ之ヲ許可セス

第三十二條 公益ヲ害スルモノト認メタルトキ又ハ鑛業ノ價值ナシト認メタルトキハ鑛業ノ出願ヲ許可セス

第三十三條 試掘出願地又ハ採掘出願地重複スルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ願書發送ノ日時ノ先ナル者優先權ヲ有ス願書發送ノ日時同一ナルトキハ鑛山監督署長ハ之ヲ各出願人ニ通知スヘシ此ノ場合ニ於テハ出願人ハ其ノ通知書發送ノ日ヨリ六十日以内ニ協議ヲ調ヘ之ヲ届出ヘシ

出願人前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ抽籤ニ依リ優先權者ヲ定ム

前二項ノ規定ハ第二十五條、第二十六條、第三十一條第二項及第三十六條ノ場合ニハ之ヲ適用セス

試掘出願地採掘出願地ト重複スル場合ニ於テ願書發送ノ日時同一ナルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ採掘出願人ハ優先權ヲ有ス

第三十三條ノ二 試掘權者試掘權ノ存續期間滿了後十日以内ニ同種ノ鑛物ニ付更ニ鑛業ノ出願ヲ爲シタルトキハ舊試掘鑛區ニ係ル部分ニ付テ

ハ他ノ出願人ニ對シ優先權ヲ有ス

前項ノ場合ニ於テ他人ノ出願ノ目的異種ノ鑛物ナルトキハ第三十一條ノ規定ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ前項ノ出願ヲ爲シタル者ヲ以テ鑛業權者ト看做ス

第三十四條 試掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ採掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ出願地重複スルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ採掘ノ出願ハ試掘願書發送ノ日時ニ於テ試掘ノ出願ニ代リタルモノト看做ス但シ第三十三條第四項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項本文ノ規定ハ採掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ試掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ハ第二十四條及第二十五條ノ場合ニ於ケル期限經過後ノ出願ニ之ヲ適用セス

第三十五條 採掘權者ハ鑛區ノ合併又ハ分割ヲ農商務大臣ニ出願スルコトヲ得鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキ亦同

抵當權ノ設定アル場合ニ於テ前項ノ出願ヲ爲サムトスルトキハ抵當權



者ノ承諾及抵當權ノ順位ニ關スル協定ヲ經ヘシトキハ其ノ鑛區ニ掘進スル爲増區ヲ出願スルコトヲ得

鑛床ノ位置形狀ニ依リ隣接鑛區ニ掘進スルニ非サレハ鑛利ヲ保護スル能ハサル場合ニ於テハ其ノ鑛業權者ノ承諾ヲ得テ鑛區ノ訂正ヲ出願スルコトヲ得此場合ニ於テハ鑛業權者ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス

第二項ノ出願ヲ爲サムトスル者ハ其ノ願書ニ鑛區圖ノ外鑛床圖ヲ添附スヘシ

前項ノ鑛床圖ハ之ヲ鑛區圖ノ一部ト看做ス

第三十七條 第二十五條第一項、第二十六條、第二十七條及第三十三條第三項ノ規定ハ之ヲ鑛區ニ準用ス  
第二十五條第一項ニ該當スル場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ出願ヲ爲ササルトキハ農商務大臣ハ探掘權ヲ取消スヘシ  
抵當權ノ設定アル場合ニ於テ鑛區ノ減少ヲ出願セムトスルトキハ豫メ抵當權者ノ承諾ヲ經ヘシ

第三十八條 錯誤ニ因リ鑛業ノ出願ヲ許可シタルトキハ農商務大臣ハ鑛區ノ改正ヲ命シ又ハ鑛業權ヲ取消スヘシ

前項ノ改正ヲ命シタル場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ出願ヲ爲ササルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ

第三十九條 鑛業公益ヲ害スルモノト認めタルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ

第四十條 鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登録ノ日ヨリ一箇年以内ニ事業ニ着手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキ又ハ施業案ニ依ラスシテ探掘ヲ爲シタルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得

第四十一條 鑛業權者第七十二條ノ命令ニ從ハサルトキ又ハ鑛業稅ヲ納メサルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得

第四十二條 探掘權取消ノ登録アリタルトキハ鑛山監督署長ハ直ニ之ヲ抵當權者ニ通知スヘシ

抵當權者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ探掘權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得但シ第三十八條第一項及第三十九條ノ規定ニ依ル探掘權取消ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス



探掘權ハ前項ノ期間内又ハ競賣ノ手續完結ノ日迄競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スルモノト看做ス  
競賣ニ依ル賣得金ハ競賣ノ費用及抵當權者ニ對スル債務ノ辨濟ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス

競買人ハ探掘權取消ノ登錄アリタル時ニ於テ探掘權ヲ讓受ケタルモノト看做ス

第四十三條 前條ノ規定ハ探掘權者廢業シタル場合ニ之ヲ準用ス  
第四十四條 探掘權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ施業案ヲ鑛山監督署長ニ

差出スヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ  
探掘權者ハ施業案ニ依ルニ非サレハ探掘ヲ爲スコトヲ得ス

第四十五條 鑛山監督署長ハ理由ヲ示シテ施業案ノ變更ヲ命スルコトヲ得  
前項ニ依リ變更シタル施業案ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クルニ非サレ

ハ之ヲ變更スルコトヲ得ス  
第四十六條 探掘權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ坑内實測圖及鑛業簿ヲ鑛業事務所ニ備置キ且其ノ複本ヲ鑛山監督署長ニ差出スヘシ

鑛業事務所ニ備置キ且其ノ複本ヲ鑛山監督署長ニ差出スヘシ

第四十七條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ鑛業ニ關スル明細表ヲ鑛山監督署長ニ差出スヘシ

第四十八條 試掘ニ依リテ得タル鑛產物ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得

第四十九條 隣接鑛業權者其ノ他ノ利害關係人ハ他人ノ鑛區ニ付鑛山監督署長ニ其ノ實地調査ヲ出願スルコトヲ得

出願人ハ前項ノ調査ニ要スル人夫及物品ヲ供スヘシ

第三章 土地使用

第五十條 本章ニ於テ關係人ト稱スルハ第五十二條乃至第五十四條及第五十六條ノ通知前使用又ハ收用スヘキ土地ニ關シテ權利ヲ有スル者及其ノ通知後ニ於テ通知前ヨリ既存セル權利ヲ承繼シタル者ヲ謂フ

第五十一條 本章ニ於テ補償金ト稱スルハ對價、使用料其ノ他土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ニ對スル補償金ヲ總稱ス

第五十二條 鑛業ノ出願又ハ鑛業ノ爲必要ナルトキハ鑛業ヲ出願セムトスル者、鑛業出願人又ハ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲スコトヲ得

土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲スコトヲ得



前項ノ許可ヲ得タル者他人ノ土地ニ立入ラムトスルトキハ豫メ土地占有者ニ通知スヘシ

第五十三條 前條ノ規定ニ依ル測量又ハ検査ノ爲必要アルトキハ鑛山監督署長ノ許可ヲ得テ障礙物ヲ除却スルコトヲ得

前項ノ許可ヲ得タル者障礙物ヲ除却セムトスルトキハ豫メ其ノ所有者及占有者ニ通知スヘシ

第五十四條 鑛業上急迫ノ危険ヲ防ク爲必要アルトキハ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ得テ直ニ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ鑛業權者ハ遲滯ナク之ヲ土地占有者ニ通知スヘシ

第五十五條 前三條ニ依リ所有者及關係人ノ受ケタル損失ニ對シテハ其ノ請求ニ因リ補償金ヲ拂渡スヘシ

第五十六條 鑛業權者ハ左ニ掲クル目的ノ爲必要アルトキハ他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

- 一 錐鑽孔又ハ坑口ノ開穿
- 二 鑛物、土石、爆發藥、用材、薪炭、鑛滓又ハ灰燼ノ置場ノ設置

三 選鑛場又ハ製鍊場ノ建設

四 鐵道、軌道、道路、運河、溝渠、管樋、池井、索道又ハ電線ノ開設

五 其ノ他鑛業上必要ナル工事又ハ工作物ノ施設

前項ノ規定ニ依リ鑛業權者他人ノ土地ヲ使用セムトスルトキハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クヘシ

鑛山監督署長前項ノ許可ヲ與ヘタルトキハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

前項ノ通知ノ後鑛業權者ハ其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲土地所有者及關係人ニ協議ヲ爲スヘシ

第五十七條 土地ノ使用三箇年以上ニ亙ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十八條 土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用キタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ土地所有者ハ其ノ全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十九條 土地ヲ使用又ハ收用スルトキハ土地所有者及關係人ニ補償金ヲ拂渡スヘシ



第六十條 土地ノ一部ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其  
 他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ  
 第六十一條 土地ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ通路、溝渠、墻柵其ノ他  
 ノ工作物ノ新築、改築、増築又ハ修繕ヲ爲スノ必要ヲ生スルトキハ其  
 ノ補償金ヲ拂渡スヘシ  
 第六十二條 第五十六條ノ通知ノ後土地ノ形質ヲ變更シ工作物ノ新築、  
 改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置セムトスルトキハ土  
 地所有者又ハ關係人ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クヘシ許可ヲ受ケスシ  
 ヲ之ヲ爲シタル者ハ之ニ關スル補償金ヲ請求スルコトヲ得ス  
 第六十三條 第五十六條ノ通知ノ後事業ヲ廢止又ハ變更シタルニ因リテ  
 土地所有者又ハ關係人ノ受ケタル損失ニ對シ鑛業權者ハ其ノ補償金ヲ  
 拂渡スヘシ  
 第六十四條 土地所有者及關係人ハ鑛業權者ヲシテ補償金ニ付相當ノ擔  
 保ヲ供セシムルコトヲ得  
 第六十五條 土地ノ使用又ハ收用ノ協議關ヒ裁決確定シ又ハ判決アリタ  
 ルトキハ補償金又ハ擔保ヲ裁決確定セサルトキト雖鑛業權者ハ其ノ裁

決ニ依ル補償金ヲ供託シ又ハ擔保ヲ供シテ土地ヲ使用又ハ收用スルコ  
 トヲ得  
 第六十六條 鑛業權者補償金ノ拂渡若ハ供託ヲ爲サス又ハ擔保ヲ供セサ  
 ルトキハ土地所有者及關係人ハ土地ヲ用ウルコトヲ拒ムコトヲ得  
 第六十七條 土地ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ鑛業權者  
 之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス  
 土地ヲ使用スルトキハ其ノ權利ハ使用ノ時期ニ於テ鑛業權者之ヲ取得  
 シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間其ノ行使ヲ停止セラル但シ使用ヲ妨ケサ  
 ルモノハ此ノ限ニ在ラス  
 第六十八條 土地ノ使用ヲ終リタルトキハ鑛業權者ハ土地ヲ原狀ニ復シ  
 又ハ原狀ニ復セサルニ因リテ生スル損失ニ對シ補償金ヲ拂渡シテ之ヲ  
 返還スヘシ  
 第六十九條 先取特權、質權又ハ抵當權ハ其ノ目的物ノ使用又ハ收用ニ  
 因リテ債務者ノ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ  
 拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ  
 第七十條 土地ノ使用及收用ニ關スル規定ハ水ノ使用ニ關スル權利ニ之



ヲ準用ス

#### 第四章 鑛業警察

第七十一條 鑛業ニ關スル左ノ警察事務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農商務

大臣及鑛山監督署長之ヲ行フ

一 建設物及工作物ノ保安

二 生命及衛生ノ保護

三 危害ノ豫防其ノ他公益ノ保護

七十二條 鑛業上危険ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認めタル

トキハ農商務大臣ハ鑛業權者ニ其ノ豫防又ハ鑛業ノ停止ヲ命スヘシ

急迫ノ危険ヲ防ク爲必要アルトキハ鑛山監督署長ハ前項ノ處分ヲ爲ス

コトヲ得

七十三條 農商務大臣ハ採掘權者ニ技術ニ關スル管理者ノ選任又ハ改

任ヲ命スルコトヲ得

管理者ノ資格及職務ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

七十四條 鑛業權消滅シタル後ト雖一箇年間ハ農商務大臣及鑛山監督

署長ハ七十二條ノ規定ニ準シ其ノ鑛業權ヲ有セシ者ニ對シテ危害豫

防ニ關スル設備ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令ヲ受ケタル者ハ危害豫防ノ目的ノ範圍内ニ於テ鑛業權者ト

看做ス

#### 第五章 鑛夫

七十五條 採掘權者ハ鑛夫ノ雇傭及勞役ニ關スル規則ヲ定メ鑛山監督

署長ノ許可ヲ受クヘシ

七十六條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ鑛夫名簿ヲ鑛業事務所ニ

備置クヘシ

七十七條 鑛業權者鑛夫ヲ解雇シタル場合ニ於テハ其ノ請求ニ因リ雇

傭ノ期間、業務ノ種類、技能、賃金及解雇ノ事由ヲ記載シタル證明書

ヲ與フヘシ

七十八條 鑛業權者ハ毎月一回以上上期日ヲ定メ通貨ヲ以テ鑛夫ニ其ノ

賃金ヲ支拂フヘシ

七十九條 農商務大臣ハ命令ヲ以テ鑛夫ノ年齢及就業時間並婦女、幼

者ノ勞役ノ種類ヲ制限スルコトヲ得

八十條 鑛夫自己ノ重大ナル過失ニ因ラスシテ業務上負傷シ疾病ニ罹



リ又ハ死亡シタルトキハ鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ鑛夫又ハ其ノ遺族ヲ扶助スヘシ

第六章 鑛業稅

第八十一條 鑛業權者ニハ鑛業稅ヲ課ス

金鑛、銀鑛、鉛鑛及鐵鑛ニ付テハ鑛產稅ヲ課セス

自己ノ採掘シタル鑛物ト他人ヨリ取得シタル鑛物トヲ合併シ製鍊スル

場合ニ於テ其ノ取得鑛物ヨリ製出シタル鑛產物ニ付テモ亦前項ニ同シ

但シ其ノ取得鑛物ノ數量カ自己ノ掘採シタル鑛物ノ數量ニ超過スルト

キハ其ノ超過部分ヨリ製出シタル鑛產物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十二條 鑛業權者ニハ其ノ鑛業ニ付營業稅ヲ課セス

第八十三條 鑛區稅ハ鑛區一千坪毎ニ毎年試掘ニ付テハ參拾錢、採掘ニ

付テハ六拾錢トス但シ一千坪未滿ハ之ヲ一千坪ト看做ス

第八十四條 鑛區稅ハ毎年十二月中ニ翌年分ヲ前納スヘシ

第三十五條第一項ニ依ルモノヲ除クノ外鑛業權ノ設定若ハ變更ノ登録

ニ依リ新ニ負擔シ又ハ不足セル鑛區稅ニシテ其ノ登録ノ年ニ係ルモノ

ハ之ヲ即納スヘシ

前項ニ依リ納付スヘキ鑛區稅ハ月割ヲ以テ之ヲ計算ス鑛業權ノ存續期間滿了ノ年ニ係ルモノ亦同シ

第八十五條 鑛產稅ハ鑛產物ノ價格ノ百分ノ一トス

鑛產物ノ價格ハ主要ナル市場ノ平均相場ヲ標準トシ農商務大臣之ヲ告示ス其ノ告示セサルモノハ之ヲ檢定ス

第八十六條 鑛產稅ハ毎年三月中ニ前年分ヲ納付スヘシ但シ鑛業權消滅

ノ場合ニ於テハ即納スヘシ

第八十七條 共同鑛業權者ノ納稅義務ハ連帶トス

第八十八條 北海道、府縣及市町村ハ鑛業稅ニ對シ各鑛產稅百分ノ十、

試掘鑛區稅百分ノ三、採掘鑛區稅百分ノ七以內ノ附加稅ヲ課スルコト

ヲ得

前項ノ附加稅ノ外北海道、府縣及市町村ハ鑛業ニ對シ又ハ鑛夫、鑛產

物、鑛區若ハ直接鑛業用ノ工作物、器具、機械ヲ標準トシテ課稅スル

コトヲ得ス

前二項ノ規定ハ北海道及沖繩縣ノ區並間切島其ノ他町村ニ準スヘキモ

ノニ之ヲ準用ス



第七章 訴願、訴訟及裁決

三三〇

第八十九條 鑛業ニ關スル出願ノ許可又ハ拒否ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十條 第十一條又ハ第三十六條ノ承諾ヲ拒マレタル者及其ノ承諾ヲ得ルコト能ハサル者ハ鑛山監督署長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十一條 鑛業權ノ取消ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十二條 土地ノ使用若ハ收用、補償金又ハ擔保ニ付協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決中土地ノ使用又ハ收用ニ付不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一項ノ裁決中補償金又ハ擔保ニ付不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十三條 處分又ハ裁決ノ通告書ヲ受ケタル日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ期間ハ處分又ハ裁決ノ通告書ヲ受ケサル者ニ付テハ其ノ公示ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第八章 罰則

第九十四條 鑛業權ヲ有セスシテ鑛物ヲ掘採シタル者又ハ詐偽ノ所爲ヲ以テ鑛業權ヲ得タル者ハ二年以下ノ重禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

過失ニ因リ鑛區外ニ侵掘シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條 前條ノ場合ニ於テハ其ノ掘採シタル鑛物ヲ沒收ス既ニ之ヲ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ代金ヲ追徴ス

第九十六條 第十條第三項若ハ第十一條ノ規定ニ違背シタル者又ハ第七十二條若ハ第七十四條第一項ノ命令ニ從ハサル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十七條 第四十四條若ハ第四十五條第二項ノ規定ニ違背シタル者、

三三一



第四十五條第一項若ハ第七十三條第一項ノ命令ニ從ハサル者又ハ第七十九條若ハ第八十條ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シタル者ハ百五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十八條 第四十六條乃至第四十八條、第七十六條又ハ第七十八條ノ規定ニ違背シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十九條 第五十三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ障礙物ヲ除却シタル者又ハ第七十五條ノ規定ニ違背シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス  
當該官吏ニ對シテ鑛業ニ關スル書類若ハ物件ノ検査ヲ拒ミ又ハ之ヲ妨ケタル者ハ罰前項ニ同シ但シ其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第一百條 第七十七條ノ規定ニ違背シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス  
第一百一條 詐僞其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ鑛業稅ヲ免レ又ハ免レムトシタル者ハ其ノ脫稅金額三倍ニ相當スル罰金ニ處ス

第一百二條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シタル者ニハ刑法ノ減輕、再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用キス

第一百三條 鑛業權者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ鑛業權者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定

代理人ニ適用ス但シ鑛業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第一百四條 鑛業權者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ本法ノ處罰ヲ免ルコトヲ得ス

本法ニ基キテ發スル命令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ命令ニ規定セル罰則ニ付テモ亦同シ

第一百五條 前二條ノ場合ニ於テハ禁錮又ハ拘留ノ刑ニ處スルコトヲ得ス  
第一百六條 明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

附 則

第一百七條 本法ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス  
鑛業條例ハ之ヲ廢止ス

第一百八條 鑛業條例ニ依ル試掘ノ認可ハ試掘權ノ登録ト看做ス

第一百九條 日本坑法ニ依ル借區ノ許可及鑛業條例ニ依ル採掘ノ特許ハ採掘權ノ登録ト看做ス但シ鑛業條例第四十一條第二項ニ定メタル面積ニ



滿タサル鑛區ニ對スルモノハ其ノ期限ノ到來ニ因リテ消滅ス  
**第一百十條** 本法施行前ニ於ケル官廳所屬ノ採掘區域ハ採掘鑛區トシ本法  
 施行ノ日ニ於テ採掘權ノ登録ヲ得タルモノト看做ス  
**第一百十一條** 鑛業條例ニ依ル採掘權ノ書入ノ登録ハ抵當權ノ登録ト看做  
 ス

**第一百十二條** 第七十四條ノ規定ハ本法施行前ニ試掘認可又ハ採掘特許ノ  
 消滅シタル場合ニモ之ヲ適用ス但シ一箇年ノ期間ハ其ノ消滅ノ日ヨリ  
 之ヲ起算ス

**第一百十三條** 日本坑法ニ依リ借區ノ許可ヲ得タル者及鑛業條例ニ依リ試  
 掘ノ認可又ハ採掘ノ特許ヲ得タル者ハ本法施行ノ日ヨリ六十日以内ニ  
 明治三十八年分ノ鑛區稅又ハ其ノ不足額ヲ納付スヘシ其ノ鑛區稅ハ月  
 割ヲ以テ計算ス

**第一百十四條** 明治三十八年分ノ鑛產稅ハ本法施行前ニ得タル鑛產物ニ付  
 テモ之ヲ課ス  
**第一百十五條** 第八十八條ノ規定ハ明治三十八年度分ノ稅ニ限り之ヲ適用  
 セス

**第一百十六條** 鑛業條例ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法  
 中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノ  
 ト看做ス

**第一百十七條** 本法施行前ニ爲シタル處分ニ對スル訴願、裁定請求、行政  
 訴訟又ハ民事訴訟ニ關シテハ鑛業條例ノ規定ニ依ル  
**第一百十八條** 鑛業條例ニ依リ試掘又ハ採掘ヲ出願シタル鑛區ノ面積ニ付  
 テハ鑛業條例第四十一條第二項ノ規定ヲ適用ス

**第一百十九條** 明治三十七年十二月三十一日以前ヨリ引續キ重石鑛又ハ水  
 鉛鑛ヲ掘採スル者ニシテ明治三十八年七月三十一日迄ニ其ノ鑛物採掘  
 ノ特許ヲ出願スルトキハ其ノ掘採區域ニ限リ第三十一條、第三十三條  
 及鑛區ノ面積ニ關スル第九條ノ規定ニ拘ラス特許ヲ與フヘシ

前項ノ掘採者ニシテ明治三十八年七月三十一日迄ニ其ノ特許ヲ出願シ  
 タル者ハ其ノ指令ノ日迄本法ノ規定ニ拘ラス其ノ掘採ヲ繼續スルコト  
 ヲ得  
**第一項ノ規定ニ依リ特許ヲ得タル區域ノ面積五千坪未滿ナル場合ニ於  
 テハ其ノ特許ハ五箇年ヲ經過シタルトキ消滅ス**



第二百十條 明治三十九年十二月三十一日以前ヨリ引續キ第二條第二項ノ可燃質天然瓦斯ヲ採掘スル者ハ同條同項但書ニ該當セザル場合ト雖明治四十年六月三十日迄ニ其ノ旨鑛山監督署長ニ届出ルトキハ其ノ届出ニ係ル坑井ヨリ噴出スル可燃質天然瓦斯ニ限リ本法ヲ適用セス  
 本法ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス（四十四年三月法律第九號）  
 非常特別稅法中鑛區稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス（四十三年三月法律第十號）

○鑛業法施行細則

明治三十八年六月十五日  
 農商務省令第十七號

改正 三十九年第十五號 四十二年第二十四號 元年第二十一號  
 四十年第八號 四十四年第十號 五年第二十號

第一條 願書、申請書、届書及圖面ハ一件毎ニ之ヲ調製シ様式ノ定アルモノニ付テハ其ノ様式ニ準スヘシ  
 第二條 農商務大臣又ハ鑛山監督署長ニ差出シタル書面、圖面又ハ標品ニシテ必要ト認ムルモノハ之ヲ返付セス  
 第三條 鑛業ニ關シ命令又ハ通知ヲ發スル場合ニ於テ受信人ノ住所不分

明大凡トキハ十日間其ノ要旨ヲ鑛山監督署ノ揭示場ニ揭示スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ期間満了ノ日ニ命令又ハ通知ヲ受ケタルモノト看做ス  
 第四條 本則ノ規定ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ鑛業ヲ出願セザトスル者、鑛業出願人、鑛業權者、土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ効力ヲ有ス  
 第五條 本則中鑛業ノ出願ニ關スル規定ハ鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正、増減及改正ノ出願ニ付之ヲ準用ス  
 第六條 書面又ハ圖面不完備ナルトキハ鑛山監督署長ハ相當ノ期限ヲ附シテ修正又ハ補充ヲ命スルコトヲ得  
 第七條 書面又ハ圖面ヲ郵便ニテ差出シタルトキハ消印記號ニ記載シタル最終ノ日時ニ差出シタルモノト看做ス  
 郵便物受取證ニ依リテ前項ノ規定ニ依ル日時外ノ日時ニ差出シタルコトヲ證明シタルトキハ其ノ日時ニ差出シタルモノト看做ス其ノ消印記號ナキ場合又ハ其ノ不明ナル場合ニ於テ郵便物受取證ニ依リテ其ノ差出シタル日時ヲ證明シタルトキ亦同シ



第八條、農商務大臣ニ差出スヘキ書面又ハ圖面ハ鑛山監督署長ヲ經由スル此ノ場合ニ於テハ鑛山監督署長ニ差出シタル日時ヲ以テ差出シタル日時ト看做ス

第九條、同一地域ニ於テ二種以上ノ鑛物ニ付鑛業ヲ爲サムトスル者ハ各種ノ鑛物毎ニ願書ヲ差出スヘシ但シ同ニノ鑛床中ニ存スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十條、鑛業ノ許可ヲ得タル鑛物ノ名稱ヲ更正セムトスルトキハ願書ニ事由書ヲ添附シテ差出スヘシ

第十一條、共同鑛業出願人ハ願書ト共ニ連署シタル代表者選定ノ屆書ヲ差出スヘシ

共同鑛業出願人ハ願書ニ代表者ヲ表示シテ前項ノ屆出ニ代フルコトヲ得

前二項ノ規定ハ出願人ノ變更、鑛業權ノ設定又ハ移轉ニ因リ鑛業出願人又ハ鑛業權者ト爲ルヘキ者二人以上ナル場合ニ之ヲ準用ス但シ鑛業權設定ノ場合ニ於テハ登録稅納付書ニ代表者ヲ表示シタルトキハ之ヲ以テ代表者ノ屆出ト看做ス

第十二條、共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者代表者ヲ改定シタルトキハ連署ナク連署シテ其ノ旨ヲ届出ス

第十三條、鑛業法第七條第一項ノ規定ニ依リ鑛山監督署長代表者ヲ指定シタルトキハ之ヲ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ニ通知スヘシ

第十四條、鑛業出願人代表者ニ依リテ鑛業出願ノ取下、區域増減ノ出願又ハ出願人變更ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ願書又ハ届書ニ其ノ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ代表者ニ依リテ鑛區ノ増減、合併又ハ分割ヲ出願スル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條、鑛業ニ關スル出願ニシテ鑛利保護上又ハ鑛區分合上出願地及鑛區ノ面積百萬坪ヲ超ユル場合ニ於テハ願書ニ其ノ理由書ヲ添附スヘシ

第十六條、鑛業ノ出願地鑛業法第十條第二項ノ場所ニ係ルトキハ出願ノ日ヨリ三十日以内ニ所轄官廳ノ許可書若ハ許可ヲ受ケタルコトヲ證スル書面又ハ許可ヲ申請シタルコトヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

第十六條ノ二、鑛業出願地カ實地調査ニ因リテ鑛業法第十條第二項ノ場



所ニ係ルコトヲ發見シタルトキハ鑛山監督署長ハ前條ノ規定ニ拘ラス相當ノ期限ヲ附シ其ノ差出スヘキ書面ノ提出ヲ命スルコトヲ得錯誤ニ因リ其ノ書面ノ添附ヲ遺漏シタルモノト認メタルトキ亦同シ

第十七條 鑛業出願地ノ形狀鑛業ヲ爲スニ不適當ナリト認ムルトキハ鑛山監督署長ハ農商務大臣ノ認可ヲ經相當ノ期限ヲ附シテ出願地ノ増減ヲ命スルコトヲ得

第十八條 出願人他人ノ鑛區ニ隣接シテ鑛區ヲ定メムトスルトキハ中間ニ十間以上ノ距離ヲ置クヘシ但シ隣接鑛業權者ノ承諾ヲ得タルトキハ試掘鑛區ノ範圍内ニ於テ採掘ノ出願ヲ爲ストキ又ハ鑛業法第三十三條ノ二ノ規定ニ依リ鑛業ノ出願ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

前項隣接鑛業權者ノ承諾ヲ得タルトキハ願書ニ承諾書ヲ添付シテ差出スヘシ之ヲ添付セザルトキハ承諾ナキモノト看做ス

鑛業ノ監督又ハ鑛利保護ノ爲前項ノ距離ノ延長又ハ減縮ヲ必要ナリト認ムルトキハ鑛山監督署長ハ農商務大臣ノ認可ヲ經相當ノ期限ヲ附シテ出願地ノ増減ヲ命スルコトヲ得

第十九條 鑛業願書ニ添附スヘキ圖面ハ様式第十四號ニ準シテ調製シ左ニ掲クル事項ヲ明示スヘシ

一 出願地ノ名稱及種目

二 出願地ノ面積

三 南北線

四 縮尺

五 二箇以上ノ不動基點並其ノ名稱及特徵

六 出願地ノ各隅トナルヘキ測點並其ノ番號

七 境界線並基點ト連結シタル測點間ノ方位及其ノ間數

八 出願地ヨリ五十間以内ニ於ケル他ノ鑛區トノ關係

九 出願地又ハ其ノ附近ニ於ケル鑛床ノ露頭及其ノ走向、傾斜

十 出願地及其ノ附近ニ於ケル地形其ノ他鑛業法第十條又ハ第十一條

ニ記載シタルモノ

第二十條 採掘出願人ハ其ノ願書ニ採掘セムトスル鑛物ノ鑛床ニ關スル說明書ヲ添附スヘシ

第二十一條 試掘又ハ採掘ノ願書及出願地又ハ鑛區ノ増減ノ願書ハ書留



郵使ヲ以テ差出スヘシ其ノ願書又出願書又ハ證明書其ノ願書ハ前項ノ場合ニ於テハ發送郵便局ヨリ受附ノ年月日及時刻ヲ記載シタル受取證ヲ請置クヘシ其ノ願書ニ附シタル證明書ハ前項ノ場合ニ於テハ發送郵便局ヨリ受附ノ年月日及時刻ヲ記載シタル

第二十二條 鑛山監督署長ハ相當ノ期限ヲ附シ出願人ニ鑛業ノ設備ニ關スル設計書ノ提出ヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令ニ依リテ設計書ヲ提出シタル試掘出願人カ出願ノ許可後其ノ設計ヲ變更シテ作業セムトスルトキハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條ノ二 鑛山監督署長ハ相當ノ期間ヲ附シ鑛業權者ニ鑛業ノ設備ニ關スル設計書ノ提出ヲ命シ若ハ理由ヲ示シテ設計書ノ變更ヲ命スルコトヲ得

試掘權者カ前項ノ命令ニ依リテ提出シタル設計書ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十三條 削除  
第二十四條 鑛山監督署長ハ鑛業ニ關スル出願又ハ鑛區ニ付實地調査ヲ必要ト認ムルトキハ調査事項及調査期日ヲ指定シ出願人又ハ鑛業權者

ニ立會ヲ命スルコトヲ得若シ調査期日ヲ指定スルコト能ハサルトキハ豫定期日ヲ定メ豫定期日ハ出張吏員ノ指定ニ依ルヘキコトヲ命スヘシ出張吏員カ豫定期日ヲ指定スルトキハ少クトモ三日前ニ之ヲ通知スヘシ但シ出願人又ハ鑛業權者ニ於テ異議ナキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 鑛業出願人變更ノ届書ニハ新舊出願人連署スヘシ

第二十五條ノ二 試掘權者其ノ試掘地ニ於テ採掘ノ出願ヲ爲シタル後出願人ノ變更ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ試掘權ノ移轉ヲ証スル書面ヲ添附スヘシ

第二十五條ノ三 試掘權者其ノ試掘地ニ於テ採掘ノ出願ヲ爲シタル後試掘權ヲ移轉シタルトキハ出願人變更ノ届出アリタルモノト看做ス

第二十六條 相續ニ因リテ鑛業出願人ト爲リタル者又ハ氏名、名稱若ハ住所ヲ變更シタル鑛業出願人ハ戶籍吏ニ届出タル日又ハ登記ノ日ヨリ

十四日以内ニ其ノ事實ヲ證スヘキ書面ヲ添ヘ其ノ旨ヲ鑛山監督署長ニ届出ヘシ法人ノ代表者ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二十七條 共同鑛業出願人脱退シタルトキハ代表者若シ代表者ナキニ



至リタルトキハ共同出願人ハ脱退ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ原因ヲ證スル書面ヲ添ヘ其ノ旨ヲ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第二十八條 採掘出願地ノ訂正願書ニハ訂正理由書ヲ添附スヘシ

第二十九條 採掘出願地ノ訂正又ハ鑛業出願地ノ増減ノ願書ニ添附スヘキ圖面ニハ新舊出願地ノ關係ヲ明示スヘシ

第三十條 鑛業法第三十三條第二項ノ規定ニ依ル抽籤ハ關係鑛業出願人立會ノ上鑛山監督署長之ヲ行フニ付

鑛山監督署長ハ抽籤ノ日時ヲ定メ少クトモ十四日前ニ關係鑛業出願人ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル鑛業出願人抽籤日時ニ出頭セサルトキハ鑛山監督署長ハ二名以上ノ鑛山監督署員立會ノ上之ヲ行フ

第三十一條 鑛區ノ合併又ハ分割ノ願書ニハ理由書ヲ添附シ且之ニ添附スヘキ圖面ニハ合併又ハ分割スヘキ區域ノ關係ヲ明示スヘシ但シ分割ノ願書ニ添附スヘキ圖面ハ各區域毎ニ之ヲ調製スヘシ

鑛業法第三十五條第二項ノ規定ニ依ル抵當權者ノ承諾書及抵當權ノ順位ニ關スル協定書ハ合併又ハ分割ノ願書ニ之ヲ添附スヘシ

第三十一條ノ二 鑛業法第三十三條ノ二ノ規定ニ依ル鑛業ノ願書ニハ其ノ旨ヲ記載シ且之ニ添附スヘキ圖面ニハ新區域カ舊區域ト異ナルトキハ其ノ關係ヲ明示スヘシ

第三十二條 鑛業法第三十六條第一項ノ規定ニ依ル鑛區増區ノ願書ニハ鑛床圖ノ説明書、隣接鑛業權者及抵當權者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

鑛業法第三十六條第二項ノ規定ニ依ル鑛區訂正ノ願書ニハ鑛床圖ノ説明書、隣接鑛業權者ノ承諾書又ハ鑛業法第九十條ノ規定ニ依ル裁決書若ハ判決書ノ謄本ヲ添附スヘシ

前二項ノ願書ニ添附スヘキ鑛床圖ハ平面圖及截面圖ノ二種ニ分チテ之ヲ調製スヘシ

第三十三條 鑛區訂正ノ願書ニ關シテハ第二十八條ノ規定ヲ準用ス

第三十四條 鑛區ノ訂正、増減又ハ改正ノ願書ニ關シテハ第二十九條ノ規定ヲ準用ス

第三十五條 鑛業法第三十七條第三項ノ規定ニ依ル減區又ハ増減區ノ願

書ニ關シテハ第二十九條ノ規定ヲ準用ス

第三十五條 鑛業法第三十七條第三項ノ規定ニ依ル減區又ハ増減區ノ願



書ニハ擔當權者ノ承諾書ヲ添ヘテ差出スヘシ  
 第三十六條 鑛業ノ出願許可スヘキモノト決定シタルトキハ鑛山監督署  
 長ハ其ノ旨ヲ出願人ニ通知スヘシ  
 出願人ハ前項ノ通知書ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ登録税ヲ納付ス  
 ヘシ此ノ期間内ニ登録税納付書ヲ差出シタルモ不受理ノ處分ヲ受ケタ  
 ルモノハ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ在リテハ期間後ト雖更  
 ニ登録税ヲ納付スルコトヲ得

登録税ハ第一項ノ通知書ヲ受ケタル者若ハ其ノ代理人出頭シ又ハ書留  
 郵便ヲ以テ之ヲ納付スヘシ郵便ヲ以テ納付スル場合ニ關シテハ第七條  
 ノ規定ヲ準用ス

前項ノ登録税ハ第一項ノ通知書ト共ニ納付書ニ收入印紙ヲ貼用シテ之  
 ヲ納付スヘシ

前四項ノ規定ハ第十條ノ出願ニ關シ之ヲ準用ス  
 第三十六條ノ二 鑛區ノ合併、分割、減區又ハ増減區ノ出願ニ付許可決  
 定ノ通知ヲ受ケタル者ハ合併、分割又ハ減少前ノ鑛業權ニ付登録上利  
 害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判

ノ謄本ヲ登録税納付書ニ添附シテ差出スヘシ但シ鑛區ノ分合又ハ増減  
 ノ願書ト共ニ承諾書ヲ差出シタルモノニ付テハ納付書ニ其ノ事由ヲ記  
 載スルヲ以テ足ル

第三十七條 鑛區所在地ノ名稱、種目、境界、基點又ハ面積カ鑛區圖ト  
 相違スルコトヲ發見シタルトキハ鑛山監督署長ハ相當ノ期限ヲ附シテ  
 鑛業權ノ表示變更ニ關スル鑛區圖ノ提出ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ  
 於テハ命令書ニ調査圖ヲ添附スヘシ

鑛山監督署長カ鑛業權ノ表示ノ變更ニ關スル鑛區圖ノ提出ヲ要セサル  
 モノト認メタルトキ又ハ前項ノ命令ニ依リ提出シタル鑛區圖ヲ調査シ  
 完備シタルモノト認メタルトキハ第三十六條第一項ニ準シ其ノ旨ヲ鑛  
 業權者ニ通知スヘシ

第三十六條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス  
 第三十八條 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督署長ハ願書、申請書又ハ届書ヲ  
 受理セス

一 試掘又ハ採掘出願地ノ全部カ所轄鑛山監督署ノ管轄區域内ニ在ラ  
 サルトキ



- 二 出願ノ鑛物カ鑛業法第二條ノ規定ニ該當セサルトキ
- 三 圖面ヲ添附スヘキ鑛業ノ願書ニ之ヲ添附セサルトキ又ハ添附圖面ニ依リ區域分明ナラサルトキ
- 四 手數料ヲ納付セサルトキ
- 五 削除
- 六 第十四條ノ規定ニ違背シ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附セサルトキ
- 七 第二十一條ノ規定ニ違背シ書留郵便ヲ以テ差出ササルトキ
- 八 第二十五條ノ規定ニ違背シ新舊出願人連署セサルトキ
- 八ノ二 第二十五條ノ二ノ規定ニ違背シ試掘權ノ移轉ヲ證スル書面ヲ添附セサルトキ
- 九 第三十一條第二項ノ規定ニ違背シ承諾書及協定書ヲ添附セサルトキ
- 十 第三十二條又ハ第三十五條ノ規定ニ違背シ承諾書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附セサルトキ
- 第三十八條ノ二 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督署長ハ登録稅納付書ヲ受理

- 第三十六條第四項又ハ第三十七條第三項ノ規定ニ違背シ通知書ヲ差出ササルトキ
- 二 第三十六條ノ二ノ規定ニ違背シ第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ勝本ヲ添附セサルトキ
- 第三十九條 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督署長ハ願書又ハ届書ヲ却下ス
  - 一 實地調査ノ際出願人カ出願區域ヲ明示スルコト能ハサルカ又ハ第二十四條第一項ノ規定ニ依リテ指定シタル調査事項ノ説明ヲ爲スコト能ハサルトキ
  - 二 願書ニ添附シタル圖面カ實地ノ區域ト著シク相違スルトキ
  - 三 第六條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ修正又ハ補充ヲ爲ササルトキ
  - 四 第十六條ニ規定シタル期間又ハ第十六條ノ二ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ許可書又ハ證明書ヲ差出ササルトキ
  - 五 第十七條又ハ第十八條第三項ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ區域増減ノ願書ヲ差出ササルトキ
  - 六 第二十二條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ設計書ヲ差出ササルトキ



- 七 削除十二條ノ規定ニ依リテ命令ノ限期內ニ登録書ヲ提出セザルハ
- 八 第二十四條ノ規定ニ依リテ指定シタル期日ニ出願人立會ヲ爲サザルハ
- 九 第三十六條ノ規定シタル期間內ニ登録稅納付書ヲ提出シ又ハ郵便
- 十 第七十九條ノ規定ニ依リテ命令ノ限期內ニ協定書ヲ差出サザルハ
- 第四十條書相續ニ因リテ鑛業權者若ハ抵當權者ト爲リタル者又ハ氏名、名稱若ハ住所ヲ變更シタル鑛業權者若ハ抵當權者ハ戶籍吏ニ届出テタル日又ハ登記ノ日ヨリ十四日以内ニ其ノ登録ヲ申請スヘシ法人ノ代表者ヲ變更シタルトキハ之ニ準シテ其事實ヲ證スヘキ書面ヲ添ヘ其ノ旨
- 鑛山監督署長ニ届出ヘシ
- 第四十一條ニ鑛業權者鑛業ニ着手シタルトキハ遲滯ナク鑛區所在地又ハ其ノ附近ニ鑛業事務所ヲ定メ鑛山監督署長ニ届出ヘシ
- 第四十二條ニ試掘權者ハ試掘鑛區圖及試掘工程表ヲ、採掘權者ハ坑内實測圖及鑛業簿ヲ外採掘鑛區圖及鑛業施業案ヲ鑛業事務所ニ備置クヘシ
- 第四十三條 鑛業權者ハ鑛業權ノ設定若ハ移轉ノ登録アリタル日ヨリ六

- 箇月以内ニ事業ニ着手セズ又ハ六箇月以上休業セムトスルトキハ其ノ期間ヲ附シ理由ヲ詳記シテ鑛山監督署長ニ届出ヘシ
- 休業期間内ニ事業ニ着手シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ鑛山監督署長ニ届出ヘシ
- 第四十四條 鑛業施業案ハ様式第十九號ニ準シテ之ヲ調製シ之ヲ説明スヘキ圖面ヲ添ヘ鑛業ニ着手ノ日ヨリ三十日以前ニ差出スヘシ
- 鑛業ノ種類又ハ狀況ニ依リ様式ノ記載ニ依リ難キモノアルトキハ理由ヲ明示シ前項ノ記載事項ヲ増減スルコトヲ得
- 第四十五條 鑛山監督署長ハ鑛業法第四十五條第一項ノ規定ニ依リ施業案ノ變更ヲ命スルニハ少クトモ三十日以上ノ期限ヲ附スヘシ
- 第四十六條 鑛業法第四十五條第二項ノ規定ニ依ル變更願書ニハ新ナル施業案及變更ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ添附スヘシ
- 第四十七條 坑内實測圖ハ平面圖及截面圖ノ二種トシ少クトモ毎月末ニ於ケル掘進ノ狀況ヲ測定シ翌月中ニ調製スヘシ
- 坑内實測圖ノ複本ハ石炭坑ニ在リテハ毎月六月末日及十二月末日迄ノ分ヲ各八月末日及二月末日迄ニ其ノ他ニ在リテハ毎年十二月末日迄ノ



分ヲ二月末日迄ニ差出スヘシ但シ鑛山ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ鑛山監督署長ハ何時ニテモ坑内實測圖ノ複本ノ提出ヲ命シ又ハ其ノ提出期若ハ提出回数ノ變更ヲ命スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ差出シタル前期ノ坑内實測圖複本ハ請求ニ因リ之ヲ下付ス

第四十八條 鑛業簿ニハ鑛產物ノ數量、其ノ販賣高、販賣代價、行業日數及工數ヲ記載スヘシ

鑛業簿ノ複本ハ毎年六月末日及十二月末日迄ノ分ヲ各七月末日及一月末日迄ニ差出スヘシ

第四十九條 前二條ノ規定ニ依リテ調製シ若ハ差出スヘキ書類又ハ圖面ハ採掘權ノ消滅又ハ移轉ノ場合ニハ採掘權ヲ有セシ者ニ於テ其ノ登録ノ日ヨリ三十日以内ニ調製シ若ハ差出スヘシ

第五十條 鑛業明細表ハ様式第十八號ニ準シテ之ヲ調製シ毎年一月末日迄ニ其ノ前年分ヲ差出スヘシ  
第五十一條 前條ノ規定ニ依リテ差出スヘキ書類ハ鑛業權ノ消滅又ハ移

轉ノ場合ニハ鑛業權ヲ有セシ者ニ於テ其ノ登録ノ日ヨリ三十日以内ニ差出スヘシ

第五十二條 前五條ノ規定ニ依リ坑内實測圖若ハ鑛業簿ノ複本又ハ鑛業明細書ヲ差出スヘキ場合ニ於テ記載スヘキ事項ナキトキハ其ノ旨ヲ届出ヘシ

第五十三條 二箇以上ノ鑛區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ニ於テハ第四十四條及第四十六條乃至第五十一條ノ書類又ハ圖面ハ合併シテ之ヲ調製スルコトヲ得

第五十四條 鑛業權者自ラ鑛業ヲ管理セサルトキハ鑛業代理人ヲ選任シ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

前項ノ代理人ハ鑛業法及鑛業法ノ施行ニ關スル命令ノ規定ニ依リテ鑛業ノ管理ニ關シ鑛業權者ノ爲スヘキ一切ノ手續其ノ他ノ行爲ヲ委任セラレタルモノト看做ス但シ鑛業權者ハ其ノ代理權ニ制限ヲ加ヘタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ届出ヘシ

第五十五條 試掘權者ハ試掘工程表ヲ調製シテ一箇月毎ニ開坑ニ關スル狀況、鑛產物ノ數量、行業日數及工數ヲ記載スヘシ



第五十六條 試掘ニ依リテ得タル鑛產物ヲ處分セムトスルトキハ其ノ方法及數量ヲ記載シ鑛山監督署長ニ出願スヘシ

第五十七條 鑛業法第四十九條ノ規定ニ依ル實地調査ノ願書ニハ調査區域及其ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ添付スヘシ

鑛山監督署長調査ヲ要スルモノト認メタルトキハ調査日數竝之ニ要スル人夫及物品ノ豫定書ヲ調製シ出願人ニ交付スヘシ

出願人ハ人夫及物品ヲ準備シ現場ニ立會フヘシ

第五十八條 鑛業法第五十二條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ニ立入り測量又ハ檢査ヲ爲サムトスル者ハ土地ノ名稱、種目及其ノ目的ヲ記載シタル願書ヲ差出スヘシ

第五十九條 鑛業法第五十三條ノ規定ニ依リテ障礙物ヲ除却セムトスル者ハ障礙物ノ種類、名稱、存在ノ場所、所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱竝豫定價額ヲ記載シタル願書ヲ差出スヘシ

第六十條 鑛業法第五十四條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用セムトスル者ハ土地ノ名稱、占有者ノ氏名又ハ名稱及其ノ目的ヲ記載シテ出願スヘシ

前項ノ出願ハ電信ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得

本條ノ出願ニ對シ電信ヲ以テ指令ヲ受ケムトスル者ハ土地ノ名稱、占有者ノ氏名又ハ名稱及立入り又ハ使用ノ目的ヲ記スルニ相當スル電信料ヲ前納スヘシ

第六十一條 鑛業法第五十二條乃至第五十四條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ニ立入り、之ヲ使用シ又ハ障礙物ヲ除却セムトスル者ハ鑛山監督署長ノ許可證ヲ携帯スヘシ

第六十二條 鑛業法第五十六條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ヲ使用セムトスル者ハ土地ノ名稱、種目、面積、所有者ノ氏名又ハ名稱、住所、使用ノ目的、時期及期間ヲ記載シタル願書ニ土地登記謄本、未登記ノ土地ニ付テハ土地臺帳謄本、關係地實測圖及工事設計書ヲ添ヘテ差出スヘシ

第六十三條 鑛業權者鑛業法ノ規定ニ基キテ他人ノ土地ニ關スル權利ヲ取得シタルトキ、使用ヲ始メタルトキ、使用ヲ終リタルトキ又ハ使用セサルニ至リタルトキハ直ニ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

前項ノ權利取得ニ關スル届書ニハ土地ノ名稱、種目、面積、所有者ノ氏名又ハ名稱、住所、使用ノ目的、時期及期間並補償金及擔保ヲ記載ス



第六十四條 削除

第六十五條 削除

第六十六條 削除

第六十七條 削除

第六十八條 鑛業法第九十條第一項又ハ第九十二條第一項ノ規定ニ依ル

申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ請求地ニ於ケル工事又ハ鑛床ノ關係圖並所有者及關係人又ハ隣接鑛業權者ト交渉シタル始末書ヲ添附スヘシ但シ交渉ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ事由書ヲ以テ始末書ニ代フルコトヲ得

一 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所

二 所有者及關係人又ハ隣接鑛業權者ノ氏名又ハ名稱及住所

三 鑛業權ノ登録番號

四 申請ノ目的及理由

鑛山監督署長前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ所有者及關係人又ハ隣接鑛業權者ニ交付スヘシ

所有者及關係人又ハ隣接鑛業權者ハ申請書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ答辯書ヲ差出スヘシ

所有者及關係人又ハ隣接鑛業權者前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ鑛山監督署長ハ申請書ノミニ依テ裁決スルコトヲ得申請書ノ交付ヲ爲スコト能ハサルトキ亦同シ

申請人第六條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ修正又ハ補充ヲ爲ササルトキハ申請書ヲ却下ス

裁決書ニハ理由ヲ附シテ鑛山監督署長之ヲ申請人、所有者及關係人、隣接鑛業權者ニ交付スヘシ

第六十九條 鑛業法第九十條第二項又ハ第九十二條第二項ノ規定ニ依ル

訴訟ニハ鑛山監督署長ノ與ヘタル裁決書ノ謄本ヲ添ヘテ差出スヘシ

前條ノ規定ハ前項ノ訴訟ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十條 鑛業法第八十九條、第九十條第二項、第九十一條及第九十二條第二項ノ規定ニ依リテ訴訟又ハ行政訴訟ヲ提起シタル者ハ七日以内

ニ其ノ旨ヲ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第七十一條 鑛業法第九十三條第二項ノ規定ニ基テ處分又ハ裁決ノ公示



ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス但シ第三十九條ノ規定ニ依ル却下ニ付テハ鑛山監督署ノ揭示場ニ揭示スルコトニ依リテ之ヲ爲ス

第七十二條 第二十六條、第二十七條、第四十條乃至第四十三條、第四十九條、第五十一條、第五十二條、第五十五條、第六十一條、第六十三條、第七十條、第八十一條、第八十六條及第八十七條ノ規定ニ違背シタル者、第二十二條ノ第一項ノ規定ニ依ル命令ノ期間内ニ設計書ヲ差出ササルトキ若ハ第二十二條第二項及第二十二條ノ第二項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ提出シタル設計書ニ反シテ作業シタル者、第二十四條ノ規定ニ基ク指定ノ期日ニ立會ハス若ハ調査事項ノ説明ヲ爲ササル者、第三十七條第一項ノ規定ニ依ル命令ノ期間内ニ鑛區圖ヲ差出ササルトキ若ハ第三十七條第一項ノ規定ニ違背シ期間内ニ登録稅ヲ納メサル者又ハ第九十條ノ規定ニ依ル扶助規則ヲ差出ササル者若ハ第八十九條ノ規定ニ依リ扶助規則ヲ改定セサル者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス申訴書、第七十三條 第五十四條ノ規定ニ依リテ鑛業代理人ヲ定メタル場合ニハ鑛業權者、法定代理人又ハ法人ニ適用スヘキ本則ノ罰則ハ之ヲ鑛業代理人ニ適用ス但シ其ノ權限ニ屬セサル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス十

第七十四條 本則ハ第七十二條ノ規定ヲ除クハ外國ノ鑛業ニ之ヲ準用ス

第七十五條 本則ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七十六條 鑛業條例ノ施行ニ關スル農商務省令及農商務省告示ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第七十七條 鑛業條例ノ施行ニ關スル農商務省令及農商務省告示ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ本則中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本則ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十八條 本則施行前ニ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ニシテ鑛業法及本則中ニ別段ノ定ナキモノニ付テハ鑛業條例ノ施行ニ關スル農商務省令及農商務省告示ノ規定ヲ適用ス

第七十九條 鑛業條例第四十六條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル出願ニシテ抵當權者ノ承諾書ヲ添ヘタルモノニ付テハ鑛山監督署長ハ相當ノ期限ヲ附シテ抵當權ノ順位ニ關スル協定書ヲ差出サシムルコトヲ得

第八十條 本則施行前ニ明治三十二年農商務省令第三號ノ規定ニ依リテ鑛業總代人ト看做サレタル者ハ本則ノ規定ニ依リテ定メタル代表者ト



看做ス  
第八十一條 本則施行前ヨリ引續キ鑛業ヲナス者ハ本則施行ノ日ヨリ十日以内ニ鑛區所在地又ハ其ノ附近ニ鑛業事務所ヲ定メ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第八十二條 本則施行前試掘ノ認可又ハ採掘ノ特許ヲ得タル者ニ付テハ第四十三條ノ期間ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第八十三條 本則施行前ヨリ引續キ採掘ヲ爲ス者ハ明治三十八年十一月末日迄ニ第四十四條ノ規定ニ依リテ調製シタル施業案ヲ差出スヘシ

第八十四條 明治三十二年農商務省令第三號ノ規定ニ依ル鑛業代理人ハ本則ノ規定ニ依ル鑛業代理人ト同一ノ權限ヲ委任セラレタルモノト看做ス

第八十五條 鑛業條例第四十八條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ヲ使用スル者ハ本則施行ノ日ヨリ九十日以内ニ土地ノ名稱、種目及使用ノ目的ヲ記載シタル届書ニ關係地實測圖、工事設計書及使用ノ權利ヲ證スル書面ヲ添ヘテ差出スヘシ

第八十六條 鑛業條例第六十四條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ得タル鑛夫

使役規則中第六十四條ニ規定シタル事項ニ付其ノ規定ヲ異ニスルモノアルトキハ採掘權者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ改定シテ許可ヲ受クヘシ

第八十七條 鑛業條例第七十條ノ規定ニ依リテ調製シタル鑛夫名簿中第六十五條ニ規定シタル事項ニ付其ノ規定ヲ異ニスルモノアルトキハ本則施行ノ日ヨリ六十日以内ニ之ヲ改定スヘシ

第八十八條 本則施行前ヨリ引續キ試掘ヲ爲ス者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ第六十五條ノ規定ニ依リテ鑛夫名簿ヲ調製スヘシ

第八十九條 鑛業條例第七十二條ノ規定ニ依リ認可ヲ得タル鑛夫救恤規則第六十六條ニ規定シタル事項ニ付其ノ規定ヲ異ニスルモノアルトキハ採掘權者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ改定シテ許可ヲ受クヘシ但シ改定前ニ扶助ヲ必要トスル場合ニ於テハ其ノ給與金額ハ第六十六條ニ定メタル最低額ヲ下ルコトヲ得ス

第九十條 本則施行前ヨリ引續キ試掘ヲ爲ス者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ第六十六條ノ規定ニ依リテ扶助規則ヲ差出シ許可ヲ受クヘシ



第九十一條 鑛業法第一百十九條ノ規定ニ依ル願書ニハ左ノ書類ヲ添附ス  
 一 事業ノ現状ヲ詳記セル書類  
 二 明治三十七年十二月三十一日以前ヨリ引續キ出願鑛物ヲ採取スル  
 第九十二條 鑛業法第二十條ノ規定ニ依ル願書ニハ左ノ書類及圖面ヲ  
 添附スヘシ  
 一 事業ノ現状ヲ詳記セル書類  
 二 明治三十九年十二月三十一日以前ヨリ引續キ鑛業法第二條第二項  
 三 坑井ノ所在ヲ認知シ得ヘキ圖面  
 前項第三號ノ圖面ニハ左ニ掲クル事項ヲ明示スヘシ  
 一 所在地ノ名稱及種目  
 二 不動基點並其ノ名稱及特徵  
 三 坑井ト不動基點ト連結シタル測點間ノ方位及間數

○砂鑛法

明治四十二年三月法律第十三號  
改正大正五年三月法律第三十一號

第一條 本法ニ於テ砂鑛ト稱スルハ砂金、砂鐵、砂錫其ノ他沖積鑛床ヲ  
 爲シタル金屬鑛ヲ謂フ  
 金鑛ノ廢鑛又ハ鑛滓ニシテ主務大臣ニ於テ其ノ存在狀態砂金ト類似ス  
 ト認メタルモノハ之ヲ砂金ト看做ス  
 第二條 本法ニ於テ砂鑛業ト稱スルハ砂鑛ノ採取及之ニ附屬スル事業ヲ  
 謂フ  
 第三條 本法ニ於テ砂鑛區ト稱スルハ砂鑛權ノ登録ヲ得タル土地ノ區域  
 ヲ謂フ  
 第四條 砂鑛權者ハ砂鑛區内ニ於ケル各種ノ砂鑛ヲ採取スル權利ヲ有ス  
 但シ第六條ノ砂金ニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
 第五條 砂鑛區鑛區ト重複スル場合ニ於テハ砂鑛權者及鑛業權者ハ其ノ  
 採取及採掘又ハ試掘ニ付互ニ協議ヲ爲スヘシ  
 前項ノ協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ砂鑛權者  
 又ハ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得



前項ノ裁決ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ侵害セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六條 金鑛ヲ目的トスル鑛業權者ハ其ノ探掘鑛區内ニ存スル砂鑛ヲ採取スル權利ヲ有ス但シ其ノ鑛區内ニ既ニ存スル砂鑛區ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ鑛業權者ハ砂金ノ採取ニ關シ之ヲ砂鑛權者ト看做ス

第七條 砂鑛權ハ相續、讓渡、抵當權、滯納處分又ハ強制執行ノ目的タル外權利ノ目的タルコトヲ得ス

第八條 砂鑛權ヲ得ムトスル者ハ願書ニ砂鑛區圖ヲ添ヘテ主務大臣ニ出願スヘシ

第九條 砂鑛出願地他人ノ所有ニ係ルトキハ所有者ノ承諾ヲ受クヘシ土地所有者ハ命令ノ定ムル期間内ニ於テ自ラ砂鑛權ノ出願ヲ爲ストキノ外前項ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス

第十條 砂鑛出願人ハ名義ノ變更ヲ爲スコトヲ得但シ主務大臣ニ届出ヲ爲スニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

第十一條 砂鑛權者ハ砂鑛區ノ増減ヲ出願スルコトヲ得

抵當權ノ設定アル場合ニ於テ砂鑛區ノ減少ヲ出願セムトスルトキハ抵當權者ノ承諾ヲ受クヘシ

第十二條 土地所有者、地上權者、永小作權者又ハ土地ニ對シ使用ノ權利ヲ有スル者ハ其ノ土地ニ於テ砂鑛ヲ採取セムトスル者ニ對シ相當ノ補償金ヲ請求スルコトヲ得

第十三條 前條ノ請求權者ハ砂鑛權者ヲシテ補償金ニ付相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得

第十四條 砂鑛權者補償金ノ拂渡ヲ爲サス又ハ擔保ヲ供セサルトキハ第十二條ノ請求權者ハ砂鑛ノ採取ヲ拒ムコトヲ得

第十五條 補償金又ハ其ノ擔保ニ付協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ砂鑛權者ハ鑛山監督署長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十六條 前條ノ裁決アリタルトキハ其ノ未タ確定セサルトキト雖砂鑛權者ハ裁決ニ依ル補償金ヲ供託シ又ハ擔保ヲ供託シテ砂鑛ヲ採取スルコトヲ得

第十七條 鑛業法第三章ハ砂鑛法ニ關シ之ヲ準用ス但シ同法第五十六條



ニ依ル土地ノ使用ハ左ノ場合ニ限ル

一 洗鑛

二 製煉所ノ建設

三 洗滌用水路及溜池ノ開設

四 砂鑛原料ノ置場

第十八條 當該官吏砂鑛業取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ工場其ノ他ノ場所ニ臨檢スルコトヲ得

當該官吏臨檢ノ際砂鑛業ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲナシ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

第十九條 權利ヲ有セスシテ砂鑛業ヲ爲シ又ハ詐僞ノ所爲ヲ以テ砂鑛採取ノ許可ヲ受ケタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條 第二十三條ニ於テ準用シタル鑛業法第十條第三項又ハ同法第七十二條ノ命令ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 砂鑛權ノ出願又ハ砂鑛業ノ爲ニ他人ノ土地ニ立入りテ測量又ハ檢査ヲ爲ス場合ニ於テ鑛山監督署長ノ許可ヲ受ケヌシテ障礙物ヲ

除去シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

當該官吏ノ訊問ニ對シ虚僞ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ罰前項ニ同シ

第二十二條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第二十三條 鑛業法第五條、第六條、第七條第一項第二項、第十條、第十二條、第十五條、第十六條、第十九條、第二十條、第二十七條、第

三十二條、第三十三條第一項第二項、第三十五條、第三十八條乃至第四十三條、第四十九條、第七十二條、第七十四條、第八十七條乃至第八

十九條、第九十一條乃至第九十三條、第百三條及第百四條ノ規定ハ砂鑛業ニ關シテ之ヲ準用ス

附 則

第二十四條 本法ハ明治四十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

砂鑛採取法ハ之ヲ廢止ス

第二十五條 砂鑛採取法ニ依ル砂鑛採取ノ許可ハ之ヲ砂鑛權ノ登録ト看做ス



第二十六條 本法施行前ニ金鑛ヲ目的トスル鑛業ノ出願ヲ爲シタル者第一條第二項ノ砂金ノミヲ採取セムトスルトキハ命令ノ定ムル期間内ニ之ヲ鑛山監督署長ニ届出ツヘシ

前項ノ届出アリタルトキハ鑛業ノ出願ハ願書發送ノ日時ニ於テ砂鑛權ノ出願ニ代リタルモノト看做ス

第二十七條 本法施行前設定シタル鑛業權ニシテ第一條第二項ノ砂金ノミヲ目的トスルモノニ付テハ命令ノ定ムル期間内ニ其ノ鑛區ニ付砂鑛權設定ノ登録ヲ申請スヘシ其ノ登録アリタルトキハ鑛業權ノ上ニ現ニ存スル權利義務ハ砂鑛權ノ上ニ存續ス

前項ノ鑛業權ニ關シテハ砂鑛權ノ登録アル迄仍鑛業法ヲ適用ス  
第一項ノ鑛業權ニシテ鑛業財團ヲ組成スルモノニ付テハ砂鑛權ノ登録アリタル後ト雖其ノ財團ノ關係ニ於テハ之ヲ鑛業權ト看做ス

第二十八條 本法施行前砂鑛採取法ニ依リ又ハ本法第一條第二項ノ砂金ニ關シ鑛業法ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十九條 本法施行前砂鑛採取法ニ依リ又ハ本法第一條第二項ノ砂金ニ關シ鑛業法ニ依リテ爲シタル處分ニ對スル訴願、訴訟、判定、裁定又ハ裁決ニ關シテハ各砂鑛採取法又ハ鑛業法ノ規定ニ依ル

○砂鑛法施行細則

明治四十二年六月改正 明治四十四年三月第十一號  
農商務省令第二十六號 大正元年十一月第二十號  
大正五年八月第二十四號  
大正八年三月第六號

第一條 砂鑛出願地他人ノ所有ニ係ルトキハ出願後三十日以内ニ土地所有者ノ承諾書若ハ承諾ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ差出スヘシ

出願地ニ付前項ノ規定ニ依リ差出スヘキ書面ノ提出ナキトキハ鑛務署長ハ相當ノ期限ヲ附シ其提出又ハ減區出願ヲ命スヘシ

第二條 土地所有者カ砂鑛權ノ出願ヲ承諾セサルトキハ鑛山監督署長ハ土地所有者ニ砂鑛願書ノ提出ヲ命スヘシ

土地所有者カ前項ノ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ砂鑛願書ヲ差出ササルトキハ砂鑛權ノ出願ヲ承諾シタルモノト看做ス

第三條 砂鑛區ノ境界ハ直線ヲ以テ之ヲ定ム但シ河床ニ存スル砂鑛ヲ目



第四條ノ直線ヲ以テ砂鑛區ノ境界ヲ定ムル場合ニ於テハ砂鑛願書ニ添附  
スヘキ圖面ハ様式第九號ニ依リテ之ヲ調製シ左ニ掲クル事項ヲ明示ス  
ヘシ

- 一 出願地ノ名稱及種目
  - 二 出願地ノ面積
  - 三 南北線
  - 四 縮尺
  - 五 二箇以上ノ不動基點並其ノ名稱及特徵
  - 六 出願地ノ各隅ト爲ルヘキ測點並其ノ番號
  - 七 境界線並基點ト連結シタル測點間ノ方位及其ノ間數
  - 八 出願地及其ノ附近ニ於ケル地形其ノ他鑛業法第十條及第十一條ニ記載シタルモノ
- 河床ニ存スル砂鑛ヲ目的トスル砂鑛願書ニ添附スヘキ圖面ハ様式第十號ニ依リテ之ヲ調製シ左ニ掲クル事項ヲ明示スヘシ
- 出願河川ノ名稱及河川ニ沿ヘル土地ノ名稱種目

- 二 出願區域ノ總延長並幹流及支流ノ各延長
- 三 南北線
- 四 縮尺
- 五 出願區域ノ各端
- 六 各端ニ關スル不動基點並其ノ特徵及名稱
- 七 基點ト各端ノ測點トノ間ノ間數及其ノ方位
- 八 出願地及其ノ附近ニ於ケル地形其ノ他鑛業法第十條及第十一條ニ記載シタルモノ
- 九 河床ノ全幅ヲ出願區域ト爲ササルモノニ付テハ河床中ノ境界線

第五條 砂鑛法第十一條第二項ノ規定ニ依ル減區又ハ増減區ノ願書ニハ  
抵當權者ノ承諾書ヲ添ヘテ差出スヘシ

第六條 砂鑛出願ニ付手数料不足ナルトキハ鑛務署長ハ其ノ追納ヲ命ス  
ヘシ

出願人ハ前項ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ手数料ヲ納付スヘ  
シ

第六條ノ二、砂鑛出願地カ實地調査ニ因リテ他人ノ所有地ニ係ルコトヲ



發見シタルトキハ鑛山監督署長ハ相當ノ期限ヲ附シ第一條ノ規定ニ依  
リ差出スヘキ書面ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第七條 砂鑛ノ出願許可スヘキモノト決定シタルトキハ鑛山監督署長ハ  
其ノ旨ヲ出願人ニ通知スヘシ

出願人ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ登録稅ヲ納付スヘ  
シ此ノ期間内ニ登録稅納付書ヲ差出シタルモ不受理ノ處分ヲ受ケタル  
モノハ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ在リテハ期間後ト雖更ニ  
登録稅ヲ納付スルコトヲ得

登録稅ハ第一項ノ通知書ヲ受ケタル者若ハ其ノ代理人出頭シ又ハ書留  
郵便ヲ以テ之ヲ納付スヘシ郵便ヲ以テ納付スル場合ニ關シテハ鑛業法  
施行細則第七條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ登録稅ハ第一項ノ通知書ト共ニ納付書ニ收入印紙ヲ貼用シテ之  
ヲ納付スヘシ

第八條 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督署長ハ願書、申請書又ハ届書ヲ受理  
セス

一 砂鑛出願地ノ全部カ所轄鑛山監督署ノ管轄區域内ニ在ラサルトキ

二 出願ノ砂鑛カ砂鑛法第一條ノ規定ニ該當セサルトキ

三 圖面ヲ添附スヘキ砂鑛業ノ願書ニ圖面ヲ添附セサルトキ又ハ添附  
圖面ニ依リ區域分明ナラサルトキ

四 手数料ヲ納付セサルトキ

五 鑛業法施行規則第十四條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シ決議  
書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附セサルトキ

六 鑛業法施行細則第二十一條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シ書  
留郵便ヲ以テ差出ササルトキ

七 鑛業法施行細則第二十五條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シ新  
舊出願人連署セサルトキ

八 鑛業法施行細則第三十一條第二項ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違  
背シ承諾書及協定書ヲ添附セサルトキ

九 (削除)

十 第五條ノ規定ニ違背シ承諾書ヲ添附セサルトキ

第九條 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督署長ハ登録稅納付書ヲ受理セス

一 第七條第四項又ハ鑛業法施行細則第三十七條ノ規定ヲ準用スル場



合ニ於テ其ノ規定ニ違背シ通知書ヲ差出ササルトキ  
二 鑛業法施行細則第三十六條ノ二ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ其ノ規定ニ違背シ第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ膽本ヲ添附セサルトキ

第十條

左ノ場合ニ於テハ鑛山監督署長ハ願書又ハ届書ヲ却下ス

- 一 實地調査ノ際出願人カ出願區域ヲ明示スルコト能ハサルカ又ハ鑛業法施行細則第二十四條第一項ノ規定ニ準シテ指定シタル調査事項ノ説明ヲ爲スコト能ハサルトキ
- 二 願書ニ添附シタル圖面カ實地ノ區域ト著シク相違スルトキ
- 三 鑛業法施行細則第六條ノ規定ニ準シテ發スル命令ノ期限内ニ修正又ハ補充ヲ爲ササルトキ
- 四 鑛業法施行細則第十六條若ハ第十六條ノ二ノ規定ヲ準用スル場合ニ期限内ニ許可書又ハ證明書ヲ差出ササルトキ又ハ第六條ノ二ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ承諾書又ハ承諾ヲ得ルコト能ハサル事由ヲ記載シタル書面ヲ差出ササルトキ
- 五 鑛業法施行細則第十七條ノ規定ニ準シテ發スル命令ノ期限内ニ區

六 鑛業法施行細則第二十二條ノ規定ニ準シテ發スル命令ノ期限内ニ設計書ヲ差出ササルトキ

七 削除

八 鑛業法施行細則第二十四條ノ規定ニ準シテ指定シタル期日ニ出願人立會ヲ爲ササルトキ

九 第六條ニ規定シタル期限内ニ手数料ヲ納付セサルトキ

十 第七條ニ規定シタル期限内ニ登録稅納付書ヲ提出シ又ハ郵便ニ附セサルトキ

十一 第一條第二項ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ書面ノ提出又ハ減區出願ヲ爲ササルトキ

第十二條 砂鑛權者其ノ砂鑛區内ニ於テ許可ヲ得タル砂鑛以外ノ砂鑛ヲ採取セムトスルトキハ豫メ砂鑛權ノ表示變更ノ登録ヲ申請スヘシ

第十三條 削除

第十四條 砂鑛權者ハ砂鑛區圖ヲ砂鑛業事務所ニ備置クヘシ

砂鑛權者ハ毎年一月末日迄ニ其ノ前年ニ於ケル鑛產物ノ數



量、其ノ販賣高、販賣代價、行業日數及工數ヲ記載シタル砂鑛業明細表ヲ鑛山監督署長ニ差出スヘシ  
砂鑛權ノ消滅又ハ移轉ノ場合ニ於テハ砂鑛權ヲ有セシ者ニ於テ其ノ登録ノ日ヨリ三十日以内ニ砂鑛業明細表ヲ差出スヘシ  
前二項ノ規定ニ依リテ砂鑛業明細表ヲ差出スヘキ場合ニ於テ之ニ記載スヘキ事項ナキトキハ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第十五條 二箇以上ノ砂鑛區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ニ於テハ砂鑛業明細表ハ合併シテ之ヲ調製スルコトヲ得

第十六條 砂鑛法第五條第二項ノ規定ニ依ル裁決申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ請求地ニ於ケル鑛床ノ關係圖及鑛業權者又ハ砂鑛權者ト交渉シタル始末書ヲ添附スヘシ但シ交渉ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ事由書ヲ以テ始末書ニ代フルコトヲ得

- 一 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 鑛業權者又ハ砂鑛權者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 三 砂鑛權及鑛業權ノ登録番號
- 四 申請ノ目的及理由

鑛山監督署長前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ鑛業權者又ハ砂鑛權者ニ交付スヘシ  
鑛業權者又ハ砂鑛權者ハ申請書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ答辯書ヲ差出スヘシ  
鑛業權者又ハ砂鑛權者前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ鑛山監督署長ハ申請書ノミニ依リテ裁決スルコトヲ得申請書ヲ交付スルコト能ハサルトキ亦同シ  
申請人鑛業法施行細則第六條ノ規定ニ準シテ發スル命令ノ期間内ニ修正又ハ補充ヲ爲ササルトキハ申請書ヲ却下ス  
裁決書ニハ理由ヲ附シテ鑛山監督署長之ヲ當事者雙方ニ交付スヘシ  
第十七條 砂鑛法第五條第三項ノ規定ニ依ル訴願ニハ鑛山監督署長ノ與ヘタル裁決書ノ謄本ヲ添ヘテ差出スヘシ  
前條ノ規定ハ前項ノ訴願ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第十八條 砂鑛法第十五條ノ規定ニ依ル裁決ノ申請ニ付テハ第十六條ノ規定ヲ準用ス  
第十九條 鑛業法第九十三條第二項ノ規定ニ準シテ爲ス處分又ハ裁決ハ



公示ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス但シ第十條ノ規定ニ依ル却下ニ付テハ鑛山監督署ノ揭示場ニ揭示スルコトニ依リテ之ヲ爲ス

第二十條 第十一條、第十三條、第十四條ノ規定ニ違背シタル者、鑛業法施行細則第二十六條、第四十條、第四十一條、第四十三條、第六十一條、第六十三條、第七十條、第八十一條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シタル者、鑛業法施行細則第三十七條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ第一項ノ規定ニ依ル命令ノ期間内ニ砂鑛區圖ヲ差出ササルトキ又ハ第三項ノ規定ニ違背シ期間内ニ登録稅ヲ納メサル者、鑛業法施行細則第二十二條及第二十二條ノ二ヲ準用スル場合ニ於テ其ノ規定ニ依ル命令ニ基キ提出シタル設計書ニ反シテ作業シタル者又ハ第二十二條ノ第二項ノ規定ニ依ル命令ノ期間内ニ設計書ヲ提出セサル者又ハ鑛業警察規則第五十五條乃至第五十九條、第六十四條、第六十九條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十一條 鑛業法施行細則第一條乃至第八條、第十一條乃至第十四條、第十六條、第十六條ノ二、第十七條、第二十一條乃至第二十五條、第

二十六條、第二十九條乃至第三十一條、第三十四條、第三十六條ノ二、第三十七條、第四十條、第四十一條、第四十三條、第五十四條、第五十七條乃至第六十三條、第六十八條乃至第七十條、第七十三條鑛業警察規則第五十五條乃至第五十九條、第六十四條、第六十九條ノ規定ハ砂鑛業ニ關シ之ヲ準用ス

附則

第二十二條 本則ハ明治四十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

砂鑛採取法施行細則ハ之ヲ廢止ス

第二十三條 本則施行前砂鑛採取法施行細則ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本則中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本則ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十四條 本則施行前ニ二人以上共同シテ砂鑛採取ノ出願ヲ爲シタルトキ又ハ本則施行前ヨリ二人以上共同シテ砂鑛採取業ヲ爲ストキハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ連署シタル代表者選定ノ届出ヲ爲スヘシ

第二十五條 砂鑛採取法ニ依リ差出シタル砂鑛採取地ノ合併、分割、減區又ハ増減區ノ出願ニ付許可決定ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ通知ヲ受



ケタル日ヨリ三十日以内ニ合併、分割又ハ減少前ノ砂鑛權ニ付登録上利害關係ヲ有スル第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ差出スヘシ

前項ノ期限内ニ第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ差出ササルトキハ出願ハ之ヲ却下ス

第二十六條 本則施行前砂鑛採取ノ許可ヲ得タル者ニ付鑛業法施行細則第四十三條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テハ該條ノ期間ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第二十七條 砂鑛法第二十六條ノ規定ニ依ル届書ニハ鑛業願書ヲ發送シタル年月日、出願人ノ氏名又ハ名稱及住所、出願地ノ名稱及届出ノ目的ヲ記載シテ届出人ノ署名捺印スヘシ

前項ノ届書ハ本法施行後六十日以内ニ差出ササルトキハ之ヲ受理セス鑛業法施行細則第十四條ノ規定ハ第一項ノ届書ニ付之ヲ準用ス

第二十八條 砂鑛法第二十七條ノ規定ニ依ル砂鑛權設定ノ登録申請ハ本法施行後九十日以内ニ之ヲ爲ネコトヲ要ス

第二十九條 鑛業法施行細則第八十一條及鑛業警察規則第四十一條ノ規

定ハ砂鑛業ニ關シ之ヲ準用ス(以下様式略ス)

○鑛業又ハ砂鑛業ノ出願ニ關スル取調ノ件

大正八年八月十二日  
縣訓令甲第二十九號

鑛業又ハ砂鑛業ニ關スル出願ニ付當廳ヨリ調査ノ通牒ヲ受ケタルトキハ左記事項ヲ調査シ公益上支障ノ有無ニ關スル意見ヲ添ヘ二十日以内ニ上申スヘシ

大正元年十二月三重縣訓令甲第二十一號ハ之ヲ廢止ス

鑛業ニ關スル調査事項

一 出願地ノ地名(郡市町村名、大小字名)並地種地目ニ付公簿ニ對照シ相違ノ廉アラハ指摘スヘシ

一 出願地若ハ其ノ近傍ニ鑛業法第十條第十一條ニ掲ケタルモノノ有無ニ付砂鑛業ニ關スル調査事項

一 出願地ノ地名(郡市町村名、大小字名)並地種地目ニ付公簿ニ對照シ相違ノ廉アラハ指摘スヘシ

一 出願地ニ鑛業法第十條ニ掲ケタルモノノ有無



一 出願區域内土地官民有ノ區別(官有地ナレハ其ノ公私用ノ區別、私有地ナレハ其ノ所有者ノ住所氏名)及出願地流域ナルトキハ其名稱

○社寺保管林規則

明治三十二年八月 勅令第三百六十一號 改正 大正六年六月 勅令第六十七號

第一條 社寺上地ノ森林保管ヲ其ノ社寺ノ願出ニ依リ許可スルハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 保管林ノ區域ハ農商務大臣之ヲ定ム

第三條 保管林ノ保管期間ハ五十年ヲ超ユルコトヲ得ス  
前項ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得

第四條 社寺ニシテ保管林地ヲ使用セントスルトキハ大林區署長ノ許可ヲ受クヘシ但シ祭典又ハ法用ノ爲一時之ヲ使用スルトキハ此ノ限ニ在ラス

社寺ハ保管林地ノ使用ニ付林地ノ資質ヲ害シ又ハ風致ヲ損スルコトヲ得ス

第四條ノ二 社寺其ノ保管林ノ植栽ヲ願出テタルトキハ大林區署長ハ條件ヲ定メ之ヲ許可スルコトヲ得

第五條 社寺ハ保管林ニ關シ左ノ義務ヲ負フ

一 火災ノ豫防及消防

二 盜伐、誤伐、冒認、侵墾其ノ他ノ加害行爲ノ豫防及防止

三 有害動物ノ豫防及驅除

四 境界標其ノ他ノ標識ノ保存

五 大林區署長ノ命ニ依リ看守人ヲ配置スルコト

六 大林區署長ノ指定シタル方法ニ從ヒ稚樹ノ保育及成林撫育ニ必要ナル行爲ヲ爲スコト

七 前條ノ規定ニ依リ植栽ヲ爲シタル場合ニ於テ大林區署長ノ指定シタル方法ニ從ヒ手入ヲ爲スコト

第六條 主産物ハ大林區署長ノ指定ニ依リ其ノ伐採量ノ價格ノ三分ノ二ニ相當スル部分ヲ社寺ニ於テ採取スルコトヲ得但シ明治二十年以後國ノ植栽シタル樹木ニ付テハ三分ノ一、第四條ノ二ノ規定ニ依リ社寺ノ植栽シタル樹木ニ付テハ十分ノ八トス

社寺ハ大林區署長ノ許可ヲ得タル場合ニ限り根株ヲ採取スルコトヲ得

第七條 社寺ハ林地ノ資質ヲ爲ササル副産物ヲ採取スルコトヲ得



第八條 社寺ハ大林區署長ノ指定シタル期間内ニ其ノ採取產物ノ搬出ヲ終ルヘシ

第九條 左ノ場合ニ於テハ農商務大臣ハ保管ヲ解除スルコトヲ得

- 一 社寺ノ管理者第四條ノ規定ニ違背シタルトキ
  - 二 社寺ノ管理者第五條ノ義務ヲ怠リタルトキ
  - 三 社寺ノ管理者其ノ保管林ニ關シ罪ヲ犯シタルトキ
  - 四 保管林ヲ公用又ハ公益事業ニ供スル必要生シタルトキ
  - 五 本令ニ依ル許可ノ條件ニ違背シタルトキ
- 前項ノ規定ニ依リテ保管ヲ解除シタル場合ニ於テハ損害ヲ賠償セス
- 第十條 社寺ノ管理者許可ヲ得スシテ保管林地ヲ使用シタルトキハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス社寺ノ管理者保管林ヲ他人ニ貸付シ又ハ使用セシメタルトキ亦同シ

附則

第十一條 本令施行前ニ社寺ニ委託シタル上地官林ハ従前ノ例ニ依ル

第十二條 本令施行前ニ社寺ニ委託シタル上地官林ハ其ノ社寺ノ出願ニ

依リ本令ニ定ムル保管林ト爲スコトヲ得

大正六年六月勅令第六十七號附則

従前ノ規定ニ依リ許可シタル保管林ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル但シ社寺ノ出願アルトキハ本令ニ依リ保管ヲ許可スルコトヲ得

(參照)

國有林野法拔萃明治三十二年三月法律第八十五號

第十七條 社寺上地ノ森林ハ其ノ社寺ニ保管セシムルコトヲ得社寺ハ勅令ノ定ムル所

ニ依リ社寺林地ヲ使用シ又ハ主副產物ヲ採取スルコトヲ得

○國有林野法施行規則拔萃

明治三十二年八月 農商務省令第二十五號

第八章 保管

第四十一條 社寺國有林野法第十七條ノ規定ニ依リ其ノ上地ノ森林ノ保管ヲ出願セントスルトキハ願書ニ實測圖及保護方法書ヲ添附シテ之ヲ大林區署長ニ差出スヘシ

第四十一條ノ二 社寺其ノ保管林ノ植栽ヲ出願セントスルトキハ願書ニ



造林計劃書及造林區域圖ヲ添付スヘシ  
大林區署長ハ國土保安其ノ他營林上支障ナク且社寺ノ經營能力確實ナ  
ラト認ムル場合ニ限り前項ノ出願ヲ許可スルコトヲ得

第四十一條ノ三 保管林ニ社寺ノ植栽シタル樹木ハ國ノ所有トス

第四十二條 社寺其ノ保管林ニ看守人ヲ置キタルトキ又ハ看守人ヲ變更  
シタルトキハ其ノ氏名、住所及年齢ヲ大林區署長ニ届出ツヘシ

第四十三條 左ノ場合ニ於テハ社寺ハ直ニ大林區署長ニ届出ツヘシ

一 保管林又ハ其ノ木竹ニ異狀ヲ生シタルトキ

二 保管林ノ附近ニ火災、蟲害其ノ他ノ異狀ヲ生シ保管林ニ損害ヲ及  
ホスノ虞アルトキ

三 採取スヘキ主產物ノ搬出ヲ終リタルトキ

四 保管林ノ植樹、補植、手入其ノ他造林ニ必要ナル行爲ヲ爲シタル  
トキ

第四十三條ノ二 社寺ハ毎年一月三十一日迄ニ前年ニ於ケル其ノ保管林  
ノ狀況ヲ報告スヘシ

第四十四條 保管林ノ主產物ヲ採取スル場合ニ於テハ大林區署長ハ社寺

ノ採取スヘキ產物、其ノ伐採ノ方法及搬出期間ヲ指定スヘシ

前項ノ期間ハ二年ヲ超ユルコトヲ得ス但シ期間滿了前其ノ延期ヲ出願  
シタル場合ニ於テ大林區署長已ムヲ得サル事由アリト認ムルトキハ一  
年以内ヲ限り之ヲ許可スルコトヲ得

第四十四條ノ二 土石類ハ林地ノ資質ヲ爲スモノト看做ス

第四十四條ノ三 保管林ノ產物ニ付第三者ヨリ受ケタル賠償金ハ其ノ請  
求費用ヲ控除シ採取分ノ割合ニ依リ之ヲ社寺ニ交付ス但シ賠償請求ノ  
原因ニ付社寺ノ責ニ歸スヘキ事由アルトキハ其ノ交付ヲ爲ササルコト  
ヲ得

第四十四條ノ四 區域ヲ劃シ植栽シタル地域ニ存スル樹木ハ之ヲ植栽シ  
タルモノ、其他ノ地域ニ存スル樹木ハ天然ニ生育シタルモノト看做ス

第四十五條 第十三條及第十四條ノ規定ハ林野ノ保管ニ之ヲ準用ス

(參照)

第十三條 開墾者賣拂豫約ノ目的タル林野ノ引渡ヲ受ケタルトキハ請書ヲ差出スヘシ

第十四條 開墾者ハ林野ノ引渡ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ境界標ヲ建設スヘシ

第十一章 雜則



第六十二條 本則ノ規定ニ依リ差出又ハ作製スヘキ書類ニシテ書式ノ定

アルモノハ其ノ書式ニ依ルヘシ

第六十二條ノ二 本則ノ規定ニ依リ書類ヲ大林區署長ニ差出サントスル

トキハ小林區署長ヲ經由スヘシ(以下略)

第六十三條 神社ノ出願ニ付テハ神職及氏子(氏子ナキトキハ信徒)總代

願書ニ連署連印スヘシ

寺院ノ出願ニ付テハ住職及檀徒(檀徒ナキトキハ信徒)總代願書ニ連署

連印シ之ニ管長ノ添書ヲ附スヘシ

佛堂ノ出願ニ付テハ受持僧侶及信徒總代願書ニ連署連印スヘシ

第六十六條 本則ニ依ル出願人又ハ契約當事者ノ代理人ハ其ノ代理權ヲ

證スル書面ヲ差出スヘシ

前項ノ出願人又ハ契約當事者二人以上ナルトキハ總代ヲ選定シ書類ニ

ハ總代署名捺印シ之ニ委任狀ヲ添附スヘシ總代ノ選定ナキトキハ各人

互ニ代表スルモノト看做ス

第六十七條 本則ノ規定ニ依リ出願セントスル者國有林野ニ立入り又ハ

之ヲ測量スル必要アルトキハ其ノ事由ヲ申立テ小林區署長ノ許可ヲ受

クヘシ

附則 附則ノ規定ニ依リ

第六十八條 本則施行前ニ生シタル事項ニ關シテハ從前ノ例ニ依ル

書式

書式

大料保管願書

何國何郡(市)何村(町)大字何字何番森林

臺帳面積何程(ノ内)

一實測面積何程

木竹ノ種類及數

松 凡何本

杉 凡何本

竹 凡何本

雜木 凡何本

期間何年間 但自明治何年何月至明治何年何月



右ハ當神社(寺院、佛堂)ノ土地ノ森林ニ有之候ニ付保管御許可相成度  
別紙實測圖及保護方法書相添此段相願候也

年 月 日 同 本

氏 名 ⑩

本村ノ神職又

檀徒(信徒)總代

氏 名 ⑩

一宮(町)同本

信徒總代

氏 名 ⑩

同國同郡(市)同村(町)大字同字同同番森林

大林區署長氏名殿

○砂防法

明治三十年三月  
法律第二十九號

- 第一章 總則
- 第二章 土地ノ制限及砂防設備
- 第三章 砂防ニ關スル費用ノ負擔、土地所有者ノ權利義務並收入等

第四章 警察、監督及強制手續

第五章 附則

第六章 附則

第一章 總則

第一條 此ノ法律ニ於テ砂防設備ト稱スルハ主務大臣ノ指定シタル土地  
ニ於テ治水上砂防ノ爲施設スルモノヲ謂ヒ砂防工事ト稱スルハ砂防設  
備ノ爲ニ施行スル作業ヲ謂フ

第二條 砂防設備ヲ要スル土地又ハ此ノ法律ニ依リ治水上砂防ノ爲一定  
ノ行爲ヲ禁止若ハ制限スヘキ土地ハ主務大臣之ヲ指定ス

第三條 此ノ法律ニ規定シタル事項ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ主務大臣ノ  
指定シタル土地ノ範圍外ニ於テ治水上砂防ノ爲施設スルモノニ準用ス

第二章 土地ノ制限及砂防設備

第四條 第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地ニ於テハ地方行政廳ハ  
治水上砂防ノ爲一定ノ行爲ヲ禁止若ハ制限スルコトヲ得



前項ノ禁止若ハ制限ニシテ他府縣ノ利益ヲ保全スル爲必要ナルカ又ハ其ノ利害關係一府縣ニ止マラサルトキハ主務大臣ハ前項ノ職權ヲ施行スルコトヲ得

第五條 地方行政廳ハ其ノ管内ニ於テ第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地ヲ監視シ及其ノ管内ニ於ケル砂防設備ヲ管理シ其ノ工事ヲ施行シ其ノ維持ヲナスノ義務アルモノトス

第六條 砂防設備ニシテ他府縣ノ利益ヲ保全スル爲必要ナルカ又ハ其ノ利害關係一府縣ニ止マラサル場合ニ於テハ主務大臣ハ之ヲ管理シ又ハ其ノ工事ヲ施行シ又ハ其ノ維持ヲナスコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ其ノ砂防設備ニ因リ特ニ利益ヲ受クル公共團體ノ行政廳ニ命シテ其ノ工事ヲ施行セシメ又ハ其ノ維持ヲナスシムルコトヲ得

本條ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ此ノ法律ニ依リ地方行政廳ノ有スル職權ヲ直接施行スルコトヲ得

第七條 地方行政廳ハ其ノ管内ノ下級行政廳ヲシテ砂防工事ヲ施行セシメ又ハ砂防設備ノ維持ヲナスシムルコトヲ得

第八條 他ノ工事、作業其ノ他ノ行爲ニ因リ砂防工事ヲ施行スルノ必要ヲ生スルトキハ地方行政廳ハ其ノ行爲ヲナシタル者ヲシテ其ノ工事ヲ

施行シ又ハ其ノ砂防設備ノ維持ヲナスシムルコトヲ得

第九條 行政廳ハ砂防工事ノ請負ヲナスコトヲ得

第十條 砂防工事ノ請負ノ制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地ニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ地租其ノ他ノ公課ヲ减免スルコトヲ得

第三章 砂防ニ關スル費用ノ負擔、土地所有者ノ權利義務並收入等

第十二條 第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地ノ監視及砂防設備ノ管理、維持並砂防工事ニ要スル費用ハ府縣ノ負擔トス

第十三條 砂防工事ニ要スル費用ハ其ノ一部ヲ國庫ヨリ府縣ニ補助スルコトヲ得



災害ニ因リ必要ヲ生シタル砂防工事ニ要スル費用ハ本條ニ依ルノ限ニ在ラス

第十四條 第六條ニ依リ主務大臣ニ於テ砂防設備ノ管理及維持ヲナシ又ハ砂防工事ヲ施行スル場合ニ於テハ其ノ費用ハ國庫ノ負擔トス  
前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ府縣ヲシテ前項費用ノ三分ノ一以内ヲ負擔セシムルコトヲ得

前項ニ依リ府縣ノ負擔スヘキ金額並其ノ年度割及納付期限等ハ主務大臣之ヲ定ム

第十五條 地方行政廳ハ其ノ管内ノ下級公共團體ヲシテ砂防ニ關スル費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第十六條 砂防工事ニシテ他ノ工事、作業其ノ他ノ行爲ニ因リ必要ヲ生スルモノナルトキハ其ノ費用ハ工事ノ必要ヲ生スル程度ニ於テ其ノ原因タル工事、作業其ノ他ノ行爲ニ關シ費用ヲ負擔スル者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得但シ河川法第三十二條第二項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 砂防工事ニシテ他ノ府縣若ハ他府縣内ノ公共團體ニ於テ著シ

ク利益ヲ受クルモノナルトキハ其ノ府縣若ハ其ノ府縣内ノ公共團體ヲシテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第十八條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政廳ノ命シタル事項ヲ遵守スル爲ニ要スル費用ハ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除クノ外其ノ命ヲ受ケタル者ノ負擔トス

主務大臣若ハ地方行政廳ニ於テ義務者ノ履行スヘキ義務ヲ自ラ執行シ又ハ第三者ヲシテ執行セシメタルカ爲ニ要シタル費用ハ其ノ義務者ヨリ之ヲ追徴スルコトヲ得

第十九條 公共團體ハ砂防工事若ハ砂防ニ關スル費用ノ爲寄附ヲナスコトヲ得

第二十條 公共團體ハ砂防ニ關スル費用ニ付キ私人若ハ其ノ区域内ノ下級公共團體ニ補助ヲナスコトヲ得

第二十一條 公共團體ハ砂防ニ關スル費用ニ付キ利害關係ノ厚薄ヲ標準トシテ其ノ区域内ニ於テ不均一ノ賦課ヲナスコトヲ得

第二十二條 砂防工事ノ爲必要ナルトキハ地方行政廳ハ管内ノ土地若ハ森林ノ所有者ニ命シ補償金トシテ時價相當ノ金額ヲ下付シテ其ノ所有



ニ係ル土石、砂礫、芝草、竹木及運搬具ヲ供給セシムルコトヲ得但シ時價ニ關シテ協議整ハサルトキ又ハ所有者不明ナルトキ若ハ其ノ所在不明ナルトキハ地方行政廳ハ相當ト認ムル金額ヲ供託シテ本條ノ供給ヲナサシムルコトヲ得

第二十三條 砂防ノ爲必要ナルトキハ行政廳ハ第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地又ハ之ニ隣接スル土地ニ立入り又ハ其ノ土地ヲ材料置場等ニ供シ又ハ已ムヲ得サルトキハ其ノ土地ニ現在スル障害物ヲ除却スルコトヲ得

前項ノ適用ニ依リ損害ヲ受ケタル者ハ使用若ハ除却ノ後三箇月以内ニ補償金ヲ請求スルコトヲ得

第二十四條 第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地ノ所有者若ハ關係人ハ行政廳若ハ其ノ命ヲ受ケタル私人ニ於テ其ノ土地ニ砂防工事ヲ施行シ又ハ砂防設備ノ維持ヲナスコトヲ拒ムコトヲ得ス

第二十五條 法律、命令若ハ許可認可ノ條件ニ違背シタル工事、設備若ハ工作物ノ管理ニ因リ損害ヲ受ケシメタル者ハ其ノ損害ヲ賠償スヘシ  
第二十六條 此ノ法律ニ依リ行政廳ニ於テ下付スヘキ補償金若ハ賠償金

ハ其ノ行政廳ノ直接ニ管轄スル公共團體ノ負擔トス

第二十七條 砂防設備ヨリ生スル收入ハ府縣ニ歸ス但シ地方行政廳ハ其ノ收入ヲ第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地若ハ其ノ土地ニ在ル森林ノ所有者又ハ其ノ砂防設備ノ施設者ニ下付スルコトヲ得

第二十八條 砂防設備ニシテ其ノ公用ヲ廢シタルトキハ地方行政廳ハ之ヲ其ノ砂防設備ノ現在スル土地若ハ森林ノ所有者ニ下付スルコトヲ得  
第四章 警察、監督及強制手續

第二十九條 第四條ニ依リ主務大臣若ハ地方行政廳ニ於テ一定ノ事項ニ對シ許可ヲ受ケシメタル場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ主務大臣若ハ地方行政廳ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ其ノ効力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ又ハ設備ノ變更若ハ原形ノ回復ヲ命シ又ハ許可セラレタル事項ニ因リ生スル害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ヲ命スルコトヲ得

第三十條 法律、命令若ハ許可ノ條件ニ違背シタル者ハ行政廳ノ命スル所ニ從ヒ其ノ違背ニ因リテ生スル事實ヲ更正シ且其ノ違背ニ因リテ生スヘキ損害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ヲナスヘシ

第三十一條 地方行政廳ハ第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地監視



ノ爲並砂防設備管理ノ爲吏員ヲ置クヘシ其ノ定員、給料、手當、職務權限並其ノ費用ノ負擔者等ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 主務大臣ハ砂防ニ關スル行政ヲ監督ス  
地方行政廳ヲシテ第一次ニ於テ監督セシムヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

此ノ法律ニ規定シタル事項ニシテ主務大臣若ハ地方行政廳ノ認可ヲ要スルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條及第二十條ニ規定シタル事項並此ノ法律ニ依リ行政廳ニ付與シタル職權ニ關シテハ命令ヲ以テ制限ヲ設クルコトヲ得

第三十三條 他ノ府縣若ハ他府縣内ノ公共團體若ハ私人ヲシテ費用ヲ負擔セシムル爲ニ必要ナル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 主務大臣ハ地方行政廳ニ命シテ砂防工事ヲ施行セシメ其ノ他此ノ法律ニ規定シタル地方行政廳ノ職權ヲ施行セシムルコトヲ得

第三十五條 義務者ニ於テ此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依ル義務ヲ履行セス若ハ之ヲ履行スルモ必要ノ期限内ニ終了スルノ見込ナキトキ又ハ其ノ履行ノ方法宜ヲ得サルトキハ主務大臣若ハ地方行

政廳ハ自ラ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

第三十六條 私人ニ於テ此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依ル義務ヲ怠ルトキハ主務大臣若ハ地方行政廳ハ一定ノ期限ヲ示シ若シ期限内ニ履行セサルトキ若ハ之ヲ履行スルモ不充分ナルトキハ五百圓以内ニ於テ指定シタル過料ニ處スルコトヲ豫告シテ其ノ履行ヲ命スルコトヲ得

第三十七條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シ保證金ヲ納付セシメタル場合ニ於テハ行政廳ニ於テ直ニ之ヲ其ノ納付ノ目的又ハ過料ニ充用スルコトヲ得

第三十八條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ私人ニ於テ負擔スヘキ費用及過料ハ此ノ法律ニ於テ特ニ民事訴訟ヲ許シタル場合ヲ除クノ外行政廳ニ於テ國稅ノ滯納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用及過料ニ付行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有スルモノトス  
此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ公共團體ニ於テ負擔



スヘキ費用ニ關シテハ此ノ法律ニ於テ特ニ民事訴訟ヲ許シタル場合ヲ除クノ外主務大臣若ハ地方行政廳ハ必要ナル場合ニ於テハ金額ヲ定メテ之ヲ其ノ豫算表ニ掲ケ其ノ他必要ナル處分ヲ指揮シ直ニ其ノ金額ヲ支出セシムルコトヲ得

第三十九條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政廳ニ付與シタル職權ハ行政處分ニ依リ之ヲ強制スルコトヲ得  
行政廳ノ許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ關シテモ亦本條及前條ヲ準用ス

第四十條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シテハ砂防視察ノ職務ヲ有スル官吏ヲシテ命令ノ定ムル所ニ從ヒ警察官ノ職權ノ全部若ハ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

第四十一條 此ノ法律ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シテハ命令ヲ以テ二百圓以内ノ罰金若ハ一年以下ノ禁錮ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

第五章 訴願及訴訟

第四十二條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ主務大臣若ハ地方行政廳ノナシタル處分ニ對シテ不服アル私人若ハ公共團體ハ

主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令若ハ地方行政廳ノ委任ニ依リ下級行政廳ノナシタル處分ニ對シテ不服アル私人若ハ公共團體ハ地方行政廳ニ訴願シ地方行政廳ノ裁決ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

此ノ法律ニ依リ行政訴訟ノ提起ヲ許シタル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第四十三條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シ行政廳ノ違法處分ニ依リ權利ヲ毀損セラレタリトスル私人若ハ公共團體ハ前條ニ依リ訴願ノ裁決ヲ經タル後行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ主務大臣若ハ地方行政廳ノ處分ニ對シテハ直ニ之ヲ提起スルコトヲ得

第四十四條 第二十五條ニ依リ損害賠償ヲ請求スル私人若ハ公共團體ハ損害ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
法律、命令若ハ許可認可ノ條件ニ違背シタルヤ否ヤニ付キ争アルトキハ前數條ノ手續又ハ監督官廳ノ決定ニ依リ其ノ違背シタリトノ事實確



定シタル後ニアラサレハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス但シ此ノ場合ニ於テハ前項ノ期間ハ確定ノ日ヨリ起算スルモノトス

第四十五條 第二十二條若ハ第二十三條ニ依リ下付スヘキ補償金額ニ對シ不服アルトキハ行政廳ニ於テ金額ノ通知ヲナシタル日ヨリ六箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ第二十三條ノ場合ニ於テ補償金請求ノ後六箇月以内ニ其ノ金額ノ通知ナキトキハ其ノ期限經過後六箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四十六條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シテハ本章ノ規程ニ依リ特ニ許シタル場合ヲ除クノ外訴願若ハ行政訴訟ヲ提起シ又ハ行政廳ニ對シ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第六章 附 則

第四十七條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

此ノ法律ヲ施行スル爲ニ必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
第四十八條 第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地ニ在ル從來ノ砂防ニ關シテハ勅令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設クル場合ヲ除クノ外此ノ法律ノ規程ニ依ル

○砂防法施行規程

明治三十年十月  
勅令第三百八十二號

第二條 內務大臣ニ於テ砂防法第二條ニ依リ指定スル土地ハ官報ヲ以テ之ヲ告示スヘシ

第二條 砂防法第三條ニ依リ同法ニ規定シタル事項ヲ準用スヘキ施設物ハ府縣知事ニ於テ其ノ地方ノ公布式ヲ以テ之ヲ告示スヘシ其ノ準用スヘキ事項ハ府縣令ヲ以テ之ヲ定ム但シ同法第十三條及第十四條ニ規定シタル事項ハ之ヲ準用スルコトヲ得ス

第三條 砂防法第四條ニ依リ禁止若ハ制限スヘキ行爲ハ同條第一項ノ場合ニ於テハ府縣令ヲ以テ第二項ノ場合ニ於テハ內務省令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 砂防法第六條第一項ニ依リ內務大臣ニ於テ砂防設備ヲ管理シ又ハ其ノ維持ヲナス場合ニ於テハ其ノ砂防設備ヲ、其ノ工事ヲ施行スル場合ニ於テハ其ノ砂防設備工事ノ施行區域及起工年度ヲ官報ヲ以テ告示スヘシ  
前項ノ工事ヲ終了シタルトキハ官報ヲ以テ之ヲ告示スヘシ



砂防法第六條第二項ニ依リ内務大臣ニ於テ砂防設備ニ因リ特ニ利益ヲ受クル公共團體ノ行政廳ニ命シテ其ノ工事ヲ施行セシメ又ハ其ノ維持ヲナサシムル場合ニ於テモ亦前二項ノ例ニ依ル

第五條 内務大臣ニ於テ砂防設備ノ管理又ハ其ノ維持ヲナストキハ内務省直轄ノ土木事業ニ準シテ土木監督署長之ヲ行フ

第六條 砂防法第二十二條ニ依リ府縣知事ニ於テ土石、砂礫、芝草、竹木及運搬具ノ供給ヲナサシムトスルトキハ少クとも五日前に其ノ供給セシムヘキ物件ノ種類、數量及補償金額等ヲ其ノ所有者ニ通知スヘシ若シ其ノ所有者不明ナルトキ又ハ其ノ所在不明ナルトキハ物件所在地ノ市町村長ニ通知スヘシ

第七條 砂防法第二十三條ニ依リ府縣知事、郡長、市參事會、町村長、町村組合長又ハ水利組合ノ管理者ニ於テ内務大臣ノ指定シタル土地又ハ之ニ隣接スル土地ヲ材料置場等ニ供セムトスルトキハ少クとも五日前に又之ニ現在スル障害物ヲ除却セムトスルトキハ少クとも十五日前に其ノ場所若ハ障害物ヲ其ノ所有者ニ通知スヘシ若シ其ノ所有者不明ナルトキ又ハ其ノ所在不明ナルトキハ其ノ土地ノ市町村長ニ通知スヘシ

第八條 行政廳若ハ其ノ命ヲ受ケタル私人ニ於テ砂防工事ヲ施行セムトスルトキハ少クとも七日前に之ヲ其ノ土地所有者ニ通知スヘシ若シ其ノ所有者不明ナルトキ又ハ其ノ所在不明ナルトキハ其ノ土地ノ市町村長ニ通知スヘシ

第九條 砂防ニ關スル費用ノ豫算ニシテ砂防法第二條ニ依ル土地ノ指定前ニ確定シタルモノハ其ノ指定ノ爲其ノ効力ヲ失ハス  
前項豫算ニ依リ執行スヘキ事項ハ従前ノ規程又ハ慣習ニ依リ既ニ定リタル執行者ニ於テ之ヲ行フ

第十條 砂防法ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政廳ノ許可ヲ受クヘキ事項ハ從來許可ヲ受ケタルモノト雖内務大臣又ハ府縣知事ノ定ムル所ノ期限内ニ於テ更ニ其許可ヲ受クヘシ

○砂防法施行ノ土地ニ對スル一定ノ行爲

禁止制限事項ノ件

明治三十七年九月九日  
縣令第五十三號

- 第一條 左ノ掲クル行爲ハ之ヲ禁止ス
- 一 燒畑及切替畑
- 二 牧畜



- 三 木材管流
  - 四 草木根株ノ掘取
  - 五 火入
  - 六 落葉掘取(但シ設備地ノミニ限ル)
  - 七 木材及岩石ノ滑下
- 右禁止事項ト雖官廳ノ許可ヲ受ケタル設計方法ニ基キ施行スル事業ノ爲  
必要ナル場合又ハ相當ノ設備ヲ爲ス事業ニ對シテハ特ニ之ヲ解禁スルコ  
トナルヘシ
- 第二條 左ニ掲ケル行爲ヲ爲サムトスル者ハ知事ノ許可ヲ受クヘシ
- 一 開墾
  - 二 土石及礦物ノ掘取
  - 三 樹木伐採
  - 四 炭焼
  - 五 藥草刈取
- 第三條 第一條ニ違背シタル者ハ五日以上ノ拘留ニ處ス第二條ニ違背シ  
タル者ハ五日以下ノ拘留ニ處ス其ノ許可ノ條件ニ違背シタル者亦同シ

大正八年十月廿五日印刷  
大正八年十一月一日發行

(非賣品)

### 三重縣內務部林務課

三重縣津市萬町貳拾五番屋敷

印刷者

大山義雄

印刷所

共昌社

三重縣津市萬町貳拾五番屋敷



三 共 昌 庫

三重縣市街高田郡谷五番屋地

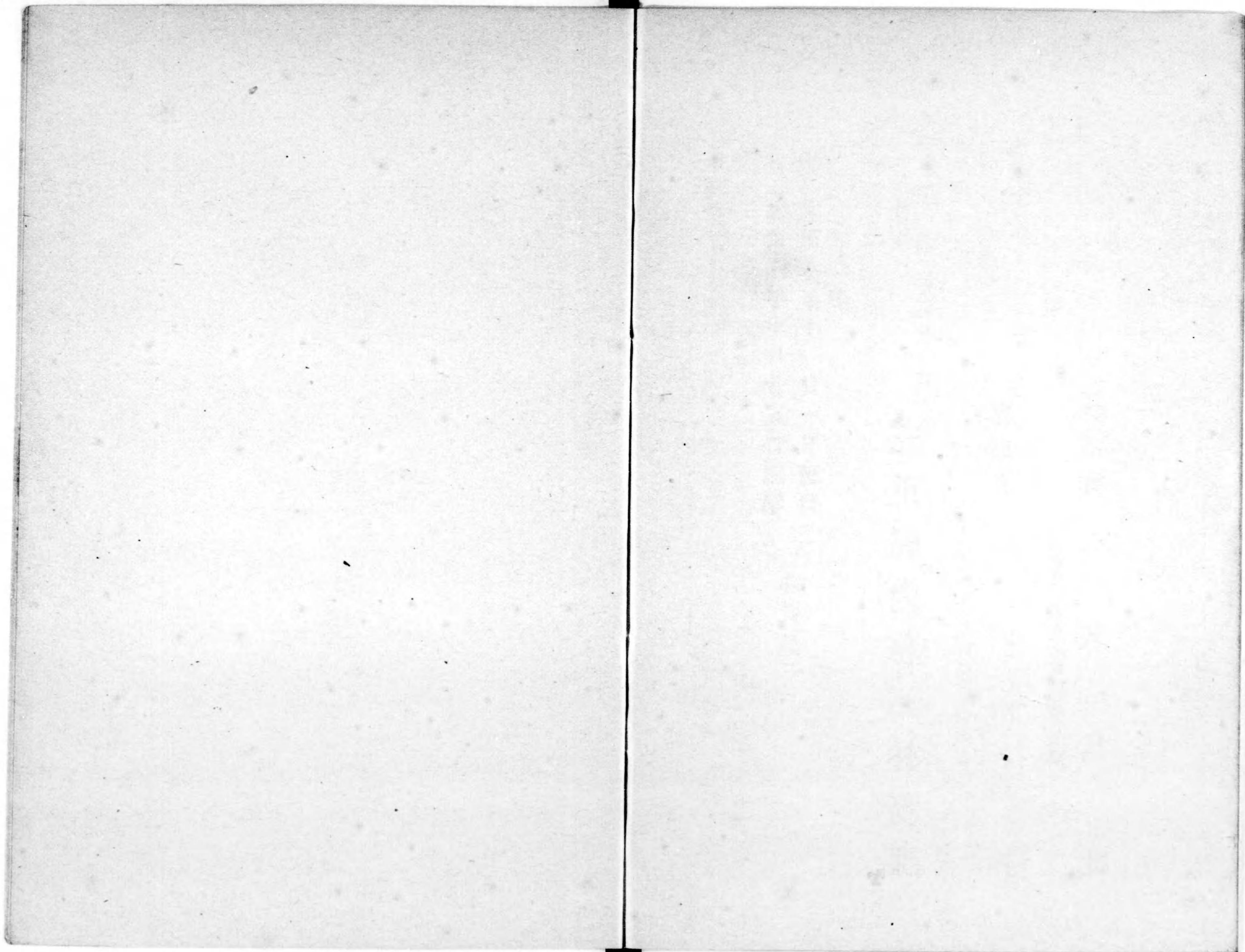
明 山 齋 藏

三重縣市街高田郡谷五番屋地

三重縣內務部林務局

大正八年十一月一日發行  
大正八年十月廿五日印刷  
(非賣品)







181  
170



終

